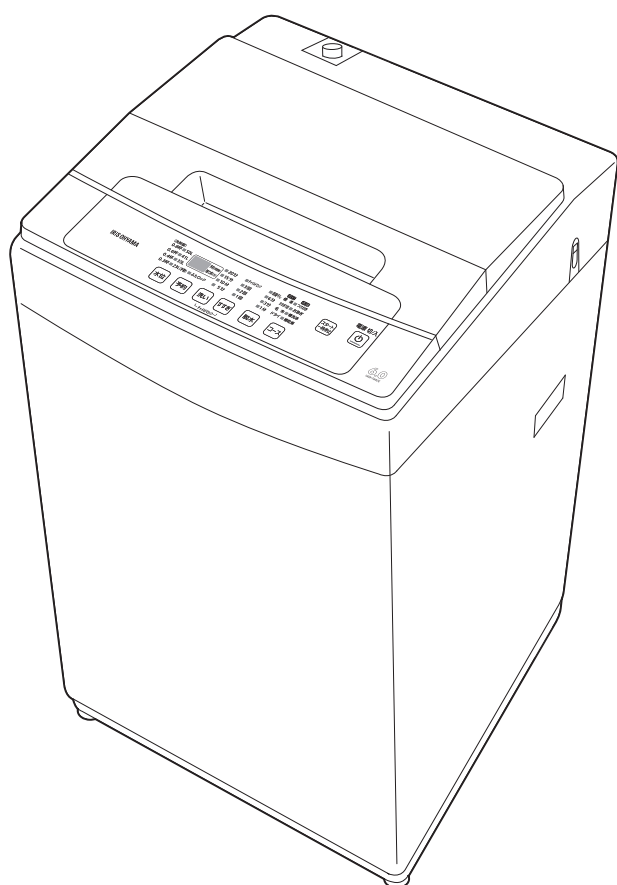


全自動洗濯機

IAW-T602E

取扱説明書



この商品は海外では使用できません。
FOR USE IN JAPAN ONLY

このたびは、お買い上げいただきまことにありがとうございます。

- この取扱説明書をよく読んで、正しく使用してください。
- 使用する前に「安全上の注意」を必ず読んでください。
- この取扱説明書は使用する方がいつでも見ることができるよう大切に保管してください。
- 「保証書」は「お買い上げ日」「販売店名」の記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

もくじ

ご使用の前に

安全上の注意	2
使用上の注意	4
各部の名称	5
洗濯物について	7

取り扱いかた

洗濯前の準備	8
洗濯	
標準・すすぎ1回・つけおき・お急ぎコース	10
ドライコース	13
毛布コース	15
コースを設定して洗濯する	17
タイマー予約洗濯	22
チャイルドロックモード	23
部屋干しモード	24
お手入れ	25
コース一覧	28

こんなときには

故障かな？と思ったら	29
仕様	34
長期使用製品について	35
保証とアフターサービス	35

安全上の注意

最初に、この「安全上の注意」をよく読んでいただき、正しく使用してください。

人への危害や、財産への損害を未然に防止するため、必ず守る必要があることを説明しています。

図記号の意味



注意を促す記号です。



禁止を示す記号です。



必ず行うことを示す記号です。



警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。

電源プラグ・電源コードは正しく使う



- 電源プラグのほこりは定期的に取り
ほこりがたまると、湿気などで絶縁不良になり、火災・感電の原因になります。
- 電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込む
ショートによる火災・感電の原因になります。
- 電源は交流100V、定格15A以上のコンセントを単独で使う
火災の原因になります。



プラグを抜く

- お手入れや点検、移動の際は、必ず電源プラグをコンセントから抜く
感電やけがの原因になります。



ぬれた手禁止

- ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしない
感電・やけど・けがの原因になります



- 電源コードをたばねて通電しない
過熱してやけど・火災の原因になります。電源コードは、必ずのばして使用してください。
- 電源コードを傷つけない
- 電源コードを引っ張らない
傷つける、加工する、無理に曲げる、引っ張る、ねじる、重いものを載せる、挟み込むなどしないでください。電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。
- 洗濯機を電源プラグに押しつけない
据え付け時は、洗濯機で電源プラグを押しつけないように注意してください。
- 電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使わない
ショートによる火災・感電の原因になります。電源コードが破損したときは、アイリスコールへお問い合わせください。

据え付けについて



- 水まわり、浴室など湿気のある場所には絶対に据え付けない
- ベランダ・庭など風雨にさらされる場所に据え付けない
火災の原因になります。



アースを必ず接続

- アースを必ず取り付ける
感電・やけど・けがの原因になります。
- アース線は、ガス管や水道管、電話線や避雷針のアース線には絶対に接続しない
爆発・火災の原因になります。



接触禁止

- 回転中の洗濯・脱水槽に手などを入れない
ゆるい回転でも、洗濯物が巻きついて大けがの原因になります。回転が完全に止まるまでは洗濯物や洗濯・脱水槽に絶対に触れないでください。



- ふたが破損したり、脱水中にふたを開けたときに脱水槽が停止しないときは、直ちに使用を中止する
事故の原因になります。お買い上げの販売店またはアイリスコールへ修理を依頼してください。



水ぬれ禁止

- 本体を水につけたり、本体に水をかけたりしない
火災・感電の原因になります。



感電注意

- 雷が鳴りだしたら、洗濯機やコンセントに触れない
感電のおそれがあります。



分解禁止

- 分解・修理・改造をしない
火災・感電・けがの原因になります。修理技術者以外の方が修理を行うことは危険です。修理については、お買い上げの販売店またはアイリスコールにご相談ください。



- 子供に洗濯・脱水槽の中をのぞかせない
- 近くに子供が乗りやすい台などを置かない
- 子供に使わせない
洗濯・脱水槽に落ちて、けがをしたりおぼれたりする原因になります。



プラグを抜く

- 異常・故障時には直ちに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜く
発煙・火災・感電のおそれがあります。
【異常の例】
 - ・ 異常な音やにおいがする
 - ・ 電源プラグ・電源コードが異常に熱くなる
 - ・ 電源コードを動かすと、通電したりしなかったりする
 - ・ 運転中時々電源が切れる
 - ・ 触れるとビリビリ電気を感じる
 ➔使用を中止し、お買い上げの販売店またはアイリスコールへお問い合わせください。



注意

誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり、物的損害が発生するおそれがある内容を示しています。



プラグを抜く

- 電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず電源プラグを持って引き抜く
電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。
- 長期間使わないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く
絶縁低下により、火災・感電の原因になります。



- 40℃以上のお湯を使用しない
- 給湯器につながらない
プラスチック部分が変形・破損し、感電や漏電、水もれの原因になります。



- スプレーをかけない（殺虫剤、整髪料、潤滑油など）
- 引火性のもの（灯油・ガソリン・シンナーなど）、可燃性のものを入れない
火災の原因になります。



火気禁止

- 可燃性のものや火のついたたばこ・線香などを入れたり近づけたりしない
火災の原因になります。



- 洗濯機の下に手や足などを入れない
回転部などに触れるとけがの原因になります。



- 上に乗ったり、寄りかかったりしない
- 重いものを載せない
転倒事故などの原因になります。



- 防水性のもの、水を通しにくいものは、洗濯・脱水しない
洗濯物の飛び出しや脱水時の異常振動により、けが・家財の損傷・洗濯物の損傷・水もれなどの原因になります。
部屋干しモードも使用しないでください。
防水性のもの・水を通しにくいもの
雨合羽・サウナスーツ・ウェットスーツ・おむつカバー・寝袋・スキーウェア・自動車などのカバー・防水シート・玄関マット・バスマット

- 衣類を入れすぎない
運転中に衣類が洗濯・脱水槽から飛び出して、衣類が損傷したり、洗濯機の部品の破損の原因になります。

据え付けについて



- キャスター付きの台など不安定な場所に据え付けない
- 高いところに据え付けない
脱水時の振動で、転倒・落下・移動し、けがや周囲の家財の破損の原因になります。



- 確実に排水できる場所に据え付ける
水もれにより、周囲の家財の汚損や、火災・感電の原因になります。



- 給水ホースは確実に接続する
- 洗濯前に水栓を開け、給水ホース接続部から水がもれていないことを確認する
ねじなどがゆるんでいないか確認してください。ホースが外れると、水もれや事故の原因になります。

使用上の注意

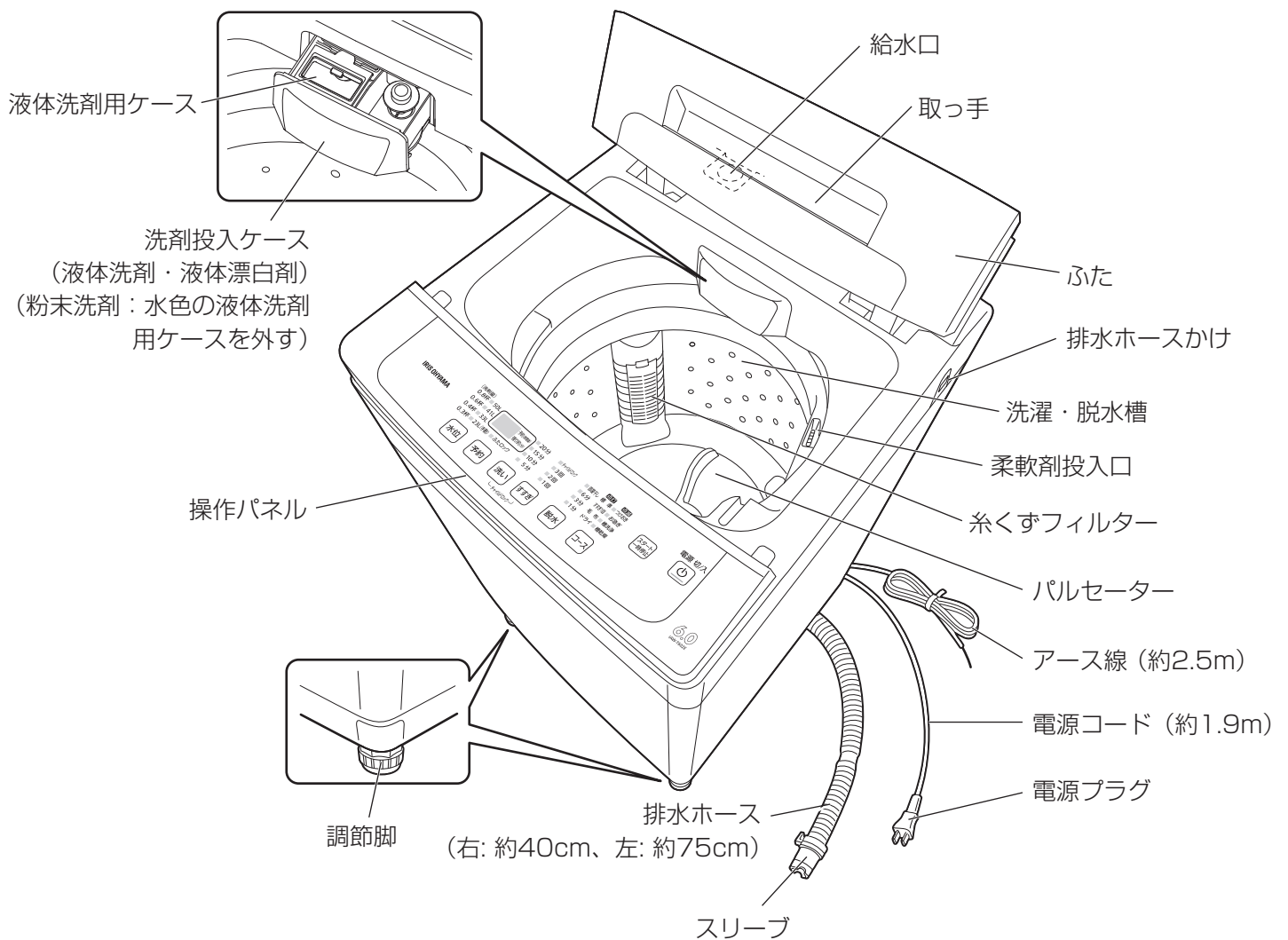
- 本体（特にふたや操作パネル）に洗剤や柔軟仕上げ剤が付いたときは、すぐにしぼったタオルなどで拭き取ってください。
印字のはがれやプラスチック部分の傷み、金属部の腐食などの原因になります。特に濃縮液体洗剤がプラスチック部分に付くと、プラスチックが割れることがあります。
- 洗剤は入れすぎないでください。
すすぎが不十分になったり、泡が飛んで周囲をぬらす原因になります。
- 洗濯物を入れすぎないでください。
洗濯物の傷み、洗濯機の破損・故障の原因になります。
- 使用後は万一の水もれを防止するために、水栓を閉めてください。
- ラジオやテレビの近くに据え付けしないでください。
ラジオやテレビにノイズが入る場合があります。
- スピーカーやIH調理器（電磁調理器）など磁気の出る機器の近くには据え付けしないでください。
- 洗濯機の上に磁気を帯びたものを載せないでください。
正常に動作しないことがあります。

- **スタート／一時停止**ボタンを押して洗濯を開始した後は、**洗い・すすぎ・脱水・コース**については変更できません。
水位の変更のみできます。

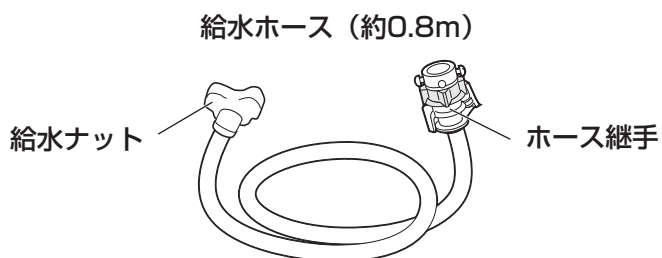
廃棄について

- 製品や梱包材の廃棄については、お住まいの自治体の取り決めにしたがって処理してください。

各部の名称



■付属品



各部の名称 つづき

■操作パネル

水位ランプ・ボタン

設定された水位を表示します。コースによっては、ボタンを押して水位を変更することができます。水位に応じた洗剤量を目安に洗剤などを投入してください。

洗いランプ・ボタン

コースを選んだ後でボタンを押すと、洗いの時間を変更することができます。洗いだけを行いたいときなどは、20ページをご覧ください。ランプを消灯させると、洗いなしになります。

脱水ランプ・ボタン

コースを選んだ後でボタンを押すと、脱水時間を変更することができます。脱水だけを行いたいときなどは、21ページをご覧ください。ランプを消灯させると、脱水なしになります。

時間表示部

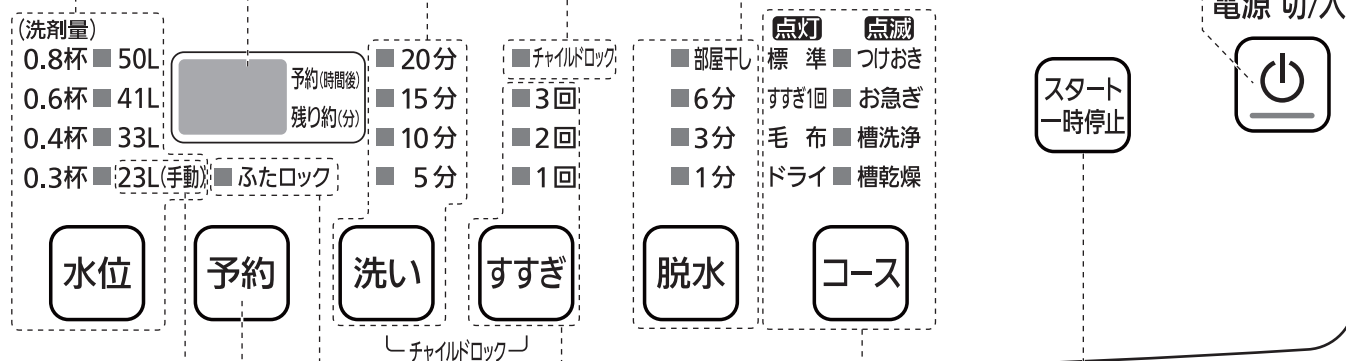
残時間・予約時間・エラーコードを表示します。残時間が100分以上のときは99分表示となります。

チャイルドロックランプ

チャイルドロックモードを入にすると点灯します。

電源 切/入ボタン

電源を入・切します。運転終了後は約6秒で電源が切れます。また、電源を入れて約10分間何もしないと、電源が切れます。



23L(手動) ランプ
水位ボタンで選んだときのみ点灯します。

ふたロックランプ
ふたがロックされているときに点灯します。

コースランプ・ボタン
洗濯のコースを選びます。ランプの点灯と点滅でコースを表示します。

予約ボタン

ボタンを押して洗濯終了までの時間を設定します。

すすぎランプ・ボタン

コースを選んだ後でボタンを押すと、すすぎの回数を変更することができます。すすぎだけを行いたいときなどは、20ページをご覧ください。ランプを消灯させると、すすぎなしになります。

スタート/一時停止ボタン

洗濯を開始するとき、一時停止するときに押します。一時停止すると、ふたロックが解除されます。(脱水時は、安全のため洗濯・脱水槽の停止を確認するので、停止するまで約1分かかります。)

洗濯物について

■洗濯できないもの

洗濯物の縮み・形くずれ・変色・損傷・風合いの劣化などのおそれがあります。

●以下の洗濯絵表示のあるもの



または



：家庭での水洗いはできない、
または洗濯処理はできない



または



：石油系ドライクリーニング

●取り扱い絵表示や素材表示のないもの

●皮革・毛皮・羽などが使われている製品

●和服・和装小物

●ネクタイ・スーツ・コート

●レーヨン・キュプラ及びそれらの混紡が使われている製品

●絹製品

●ベルベットなどのパイル地製品

●強燃糸（強くよじった糸）を使用した製品（ウール・ちりめんなど）

●毛100%または毛足10mm以上の毛布やカーペットカバー

●靴

●コーティング加工・樹脂加工・エンボス加工をした製品

■脱水できないもの

脱水時の異常振動などにより、衣類の傷みや洗濯機の破損の原因になります。

●防水性製品

洗濯できる表示があっても洗わないでください。

●玄関マット・ラグマット・敷物

裏面にゴムの付いているもの、毛足の長いもの、厚手のもの

※ 3ページ **安全上の注意** もご覧ください。

●カーペット

●座ぶとん・まくら・クッションなど

●ペットなどの毛が多量に付着したもの

●市販の洗濯補助具

洗濯ボール・ごみ取りフィルターなど

※ 厚手のタオル地の衣類や、柔道着などは、うまく脱水できないことがあります。単独での洗濯ではなく、複数枚での洗濯や、他の衣類と一緒に洗濯をしてください。

■部屋干しモードが使用できないもの

洗濯物の縮み・しわつき・変色・損傷・風合いの劣化などのおそれがあります。

●以下の取り扱い絵表示のあるもの



または



：ドライクリーニング



または

「弱くしぼる」
などの指示

：弱くしぼるのがよい



または



：つり干しがよい



または

「しぼってはいけない」
などの指示

：しぼってはいけない

●ゴムやウレタンなどを使用した製品

●わたやウレタンの入ったマット・ふとん・ぬいぐるみなど

●ウール及びウール混紡製品

●色落ち・色移りしやすいもの

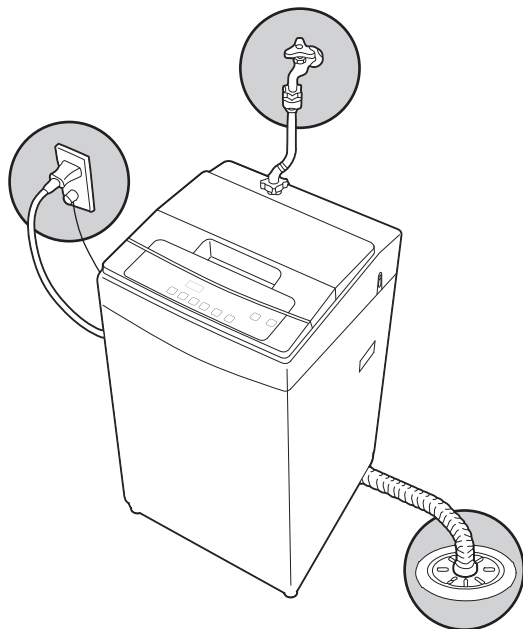
●しわが付きやすい製品

●その他、洗濯・脱水できない製品は、部屋干しモードも使用できません。

洗濯前の準備

1 据え付けの確認

初めて使用するときは、据え付け状態の確認をしてください。また、定期的に、据え付け状態に異常がないか確認してください。



電源コード

- ・電源プラグがコンセントの奥までしっかり差し込まれているか
- ・アースが接続されているか

排水ホース

- ・確実に排水口に取り付けられているか
- ・排水が止まらないように高さ10cm以内に収まっているか
- ・排水ホースが脚などにはさまっていないか

給水ホース

- ・水栓（蛇口）の接続は、付属の給水ホースを使用して、ワンタッチ継手で接続しているか
- ・本体の接続は、給水ナットを最後まで確実に締め込めるか
- ・接続部分にゆるみやがたがないか
- ・水栓（蛇口）にさびは発生していないか

※給水栓は、ストッパー付きの給水栓をおすすめします。（据付説明書参照）

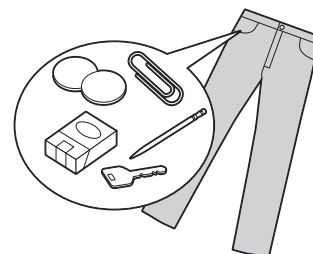
本体

- ・水平に設置されているか
- ・がたつきはないか
- ・排水ホースや給水ホース、水栓（蛇口）を圧迫していないか

2 洗濯物を確認する

ポケットの中のもの（硬貨・ねじ・ヘアピン・くぎ・つまようじ・砂など）は取り除く

- ・洗濯物の傷みや排水経路のつまり・破れ、洗濯・脱水槽の破損の原因になります。

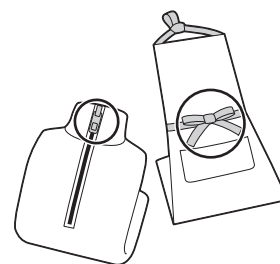


ひもなどは結ぶ

ファスナーは閉める

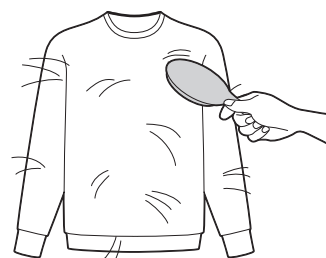
ボタンや面ファスナー（マジックテープ）はとめる

- ・洗濯物がすれたり、からまったりして、傷む原因になります。



髪の毛・動物の毛・泥・砂などはブラシで落とす

- ・排水経路がつまる原因になります。



起毛素材（コーデュロイなど）・毛玉のできやすいセーター・特殊印刷のあるTシャツなどは裏返す

- ・摩擦やかくはんなどで表面が傷みやすい製品は、裏返すか洗濯用ネットに入れてください。



3 洗濯物を分ける

色落ちしやすいもの・濃い色のものと、白いもの・色の薄いものを分ける

- 色の濃いものは、洗濯物の目立たない部分で、白いタオルなどに洗剤液を含ませて押しつけ、色落ちしないか確認してください。
- 色落ちするものは、色ごとに分けて洗ってください。

糸くずが出やすいものと、糸くずが目立つものを分ける

- タオルなどは、糸くずが出やすいので分けて洗ってください。
- コーデロイや色の濃いものなど、糸くずが目立つものは、糸くずが出やすいものと分けるか、市販の糸くず防止ネットに入れて洗ってください。

デリケートな洗濯物は市販の洗濯用ネットに入れる

- レースの付いた製品・フリルや飾りボタンの付いた製品・ストッキングやタイツなどは洗濯用ネットに入れて洗ってください。
- ワイヤー入りブラジャーは、市販のブラジャー専用洗濯用ネットに入れて洗ってください。
- くつ下などの軽い洗濯物は、脱水時に飛ばされて洗濯・脱水槽と本体のすき間に入り、故障の原因になることがあります。軽い洗濯物は洗濯用ネットに入れて洗ってください。

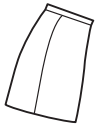
4 洗濯物を入れる

- 洗濯のコースによって、洗濯できる量が決まっています。次の表を目安に、最大量を超えないように入れてください。

コース	用途	洗濯できる量
標準	ふだんの洗濯	6.0kgまで
すすぎ1回	すすぎ1回用洗剤にすすめ	6.0kgまで
毛布	毛布を洗濯する	2.0kgまで
ドライ	ウールなどを洗濯する	1.5kgまで
つけおき	汚れの多いものを洗濯する	3.0kgまで
お急ぎ	時間を短縮して洗濯する	4.5kgまで

- ※ 素材によって重さは異なるので、慣れないうちは少なめに入れてください。
- ※ 汚れ落ちや脱水のしぼり具合を良くするために、少なめの量での洗濯をおすすめします。
- ※ ひもなどが出ている場合は、できるだけ結んでください。洗濯・脱水槽から飛び出て、衣類の損傷や洗濯機の故障の原因になります。

衣類の重さ（目安）

		
パジャマ上下 (綿) 約500g	スカート (混紡) 約400g	ワイシャツ (混紡) 約200g
		
アンダーシャツ (綿) 約130g	シーツ (綿) 約500g	バスタオル (綿) 約300g
		
タオル (綿) 約70g	ブリーフ (綿) 約50g	くつ下 (混紡) 約50g

- 重いものや水に浮きやすいものから先に入れてください。
- 水に浮きやすいものだけのときは、給水後一旦運転を停止して、上から押さえ、洗剤液を十分にしみこませてください。
- 水に浮きやすい衣類は次のようなものです。
表地や裏地が化繊100%のジャンパーなど
フリースなど化繊100%、または混紡の衣類
- 洗濯用ネットに入れた洗濯物は、必ず他の洗濯物と一緒に洗濯・脱水してください。洗濯用ネットに入れた衣類だけだと衣類が1か所に固まるため、脱水時の振動が大きくなります。
- 洗濯用ネットに入れた洗濯物は先に入れてください。

- 1** 水栓を開け、電源 切/入ボタンを押して電源を入れる



2 コースを選ぶ

- 電源を入れた直後は、**標準**コースになります。
- コース**ボタンを押すたびに、各ランプが点灯/点滅して選択されたコースを表示します

点灯 標準 ■	標準	通常はこのコースを選んでください。
点灯 すすぎ1回 ■	すすぎ1回	すすぎ1回にした節水のコースです。 すすぎをよくするためのほぐし運転があります。
点灯 毛布 ■	毛布 (15～16ページ)	毛布洗い用のコースです。
点灯 ドライ ■	ドライ (13～14ページ)	セーターなど、デリケートな衣類の洗濯に使用します。
点滅 つけおき ■	つけおき	標準のコースの前に、パルセーターの回転を止めてつけ置き洗いする行程を組み合わせたコースです。
点滅 お急ぎ ■	お急ぎ	短時間コースです。
点滅 槽洗浄 ■	槽洗浄 (26～27ページ)	お手入れで槽洗浄するときのコースです。
点滅 槽乾燥 ■	槽乾燥 (27ページ)	お手入れで槽乾燥するときのコースです。

- 3** スタート/一時停止ボタンを押す（洗濯物の量検知）

- 洗濯がスタートすると、パルセーターが回り、洗濯物の量を検知して、水位を表示し、約1分間待機します。
- 待機中は、時間表示部の数字と洗いうランプが点滅します。



(洗剤量)
0.8杯 ■ 50L
0.6杯 ■ 41L
0.4杯 ■ 33L
0.3杯 ■ 23L(手動)

(表示の例)

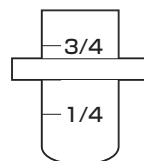
水位を変更するとき

- 軽い洗濯物（化繊の衣類・シーツなど）を入れたときは、水位が低く設定されることがあります。また、ぬれた衣類を入れると、水位が高く設定されることがあります。このようなときは、**水位**ボタンで設定を変更してください。

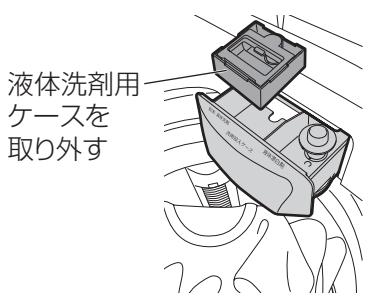
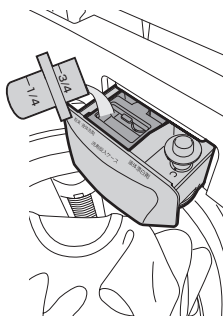


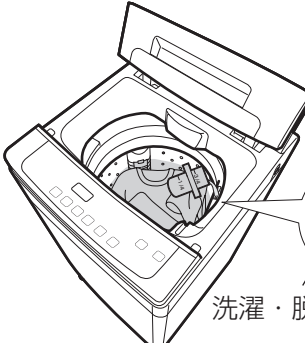
- 4** 表示にしたがって、洗濯用洗剤を洗剤ケースに、柔軟仕上げ剤を柔軟剤投入口に入れる

- 洗濯用洗剤・柔軟仕上げ剤に付属している計量キャップ・計量スプーンで、表示された水位に応じた量を入れてください。
- 約1分間の待機時間中（時間表示部の数字と洗いうランプが点滅）に洗剤投入するのを目安にしてください。



洗濯用洗剤・柔軟仕上げ剤の入れかた

粉末合成洗剤 - 水色の液体洗剤用ケースを外してから、洗剤投入ケースの左側に入れてください。 ※粉末合成洗剤は、入れすぎないでください。洗剤が固まって残ることがあります。  液体洗剤用ケースを取り外す	液体洗剤・液体中性洗剤 洗剤投入口の左側に入れてください。給水に伴い水に溶けます。 	粉石けん - あらかじめ洗剤を溶かした洗剤液を作って、給水が始まる前に洗濯・脱水槽に入れてください。約30℃のぬるま湯約5Lを用意し、かき回しながら、粉石けんを少しずつ入れます。 - 洗濯物の量検知後、約1分間の待機時間内に、洗濯・脱水槽に入れてください。 
---	---	---

柔軟仕上げ剤 - 柔軟剤と表示された投入口に入れてください。(柔軟剤は入れすぎないでください。先に流れてしまうことがあります。) ※種類によっては流れにくいものもあります。同量の水で溶かしてから入れてください。 ※少量の水と混ざると固まるものがあります。柔軟仕上げ剤の説明にしたがってください。 ※柔軟剤投入口の位置は、洗濯・脱水槽の回転によって変わります。柔軟仕上げ剤が入れにくいときは、洗濯・脱水槽を手で回して(右回転のみ)ください。スタート／一時停止ボタンを押した後は手で回さないでください。 ※脱水のときに、洗濯物の片寄りを検知すると、給水して片寄りを修正します。このため、柔軟剤の効きが弱くなる場合があります。	 洗濯・脱水槽 柔軟剤投入口 注意 ●スタート／一時停止ボタンを押した後は、洗濯・脱水槽に手で触れないでください。
---	--

・計量キャップ・計量スプーンが付いていないときは、以下の表を目安に入れてください。

水位	合成洗剤		粉石けん	柔軟仕上げ剤	
	粉末洗剤 (g) 液体洗剤 (mL)	液体中性洗剤		一般タイプ	濃縮タイプ
50L	約33g (mL)	約67mL	約60g	約33mL	約12mL
41L	約27g (mL)	約55mL	約49g	約27mL	約10mL
33L	約22g (mL)	約44mL	約40g	約22mL	約8mL
23L	約15g (mL)	約31mL	約28g	約15mL	約5mL

※お急ぎコースで洗濯するときは、洗剤の量を半分にしてください。

●洗剤は入れすぎないでください。入れすぎると泡が立ちすぎて、周囲にあふれたり、すすぎが不十分になったりします。

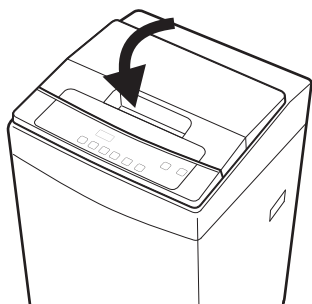
漂白剤の入れかた

粉末漂白剤 給水時の水に少しずつ溶かしながら、洗濯・脱水槽に入れます。(洗剤と同時に)	液体漂白剤 洗剤と同時に洗剤投入口に入れてください。
---	--

※漂白剤の量は、漂白剤の説明にしたがってください。

5 ふたを閉める

- ・ 洗剤・柔軟仕上げ剤・漂白剤の投入後に、ふたを閉めると、**ふたロックランプ**が点灯してふたロックがかかります。給水が始まります。
- ・ 給水が完了すると、各コースの運転が始まります。
- ・ 洗濯物の量検知後、約1分間の待機時間を過ぎてもふたが閉まっていないと、「[?]」と「- !」が交互に表示され、ブザーが鳴って洗濯は一時停止します。その場合は、ふたを閉じれば運転を再開します。

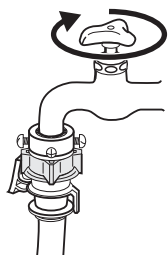


6 洗濯が終了したら洗濯物を取り出す

- ・ 洗濯が終了すると、「ピー」と6回鳴ってお知らせします。
- ・ ふたロックが解除されてから、ふたを開けて洗濯物を取り出してください。
- ・ 洗濯物はしわにならないように、早めに広げ、適切な方法で乾かしてください。

7 給水栓を閉じる

- ・ 水栓を閉じ、糸くずフィルターを外して掃除してください。(→P25)



■ ふたロックについて

- ・ 洗濯中は、ふたを閉めると、運転終了までふたロックがかかります。ふたロック中は、**ふたロックランプ**が点灯します。

点灯

■ ふたロック

- ・ 洗濯の途中で**電源 切/入**ボタンを押して電源を切ると、ふたロックは解除されます。
- ・ 停電したときは、ふたロックがかかったままになりますが、通电するとふたロックは解除されます。

ふたロックの解除

- ・ 洗濯が全て終了して脱水が停止すると、**ふたロックランプ**が消灯して、ふたロックが解除されます。

消灯

■ ふたロック

- ・ 洗濯の途中でふたロックを解除するには、**スタート/一時停止**ボタンを押してください。**ふたロックランプ**が消灯し、ふたロックが解除されます。



- ・ 脱水の途中で**スタート/一時停止**ボタンを押したときは、安全のため、約1分経って洗濯・脱水槽が停止してから、**ふたロックランプ**が消灯して、ふたロックが解除されます。

点灯

■ ふたロック

消灯

■ ふたロック

(約60秒間)

洗濯 ドライコース

1 洗濯物を確認する

- ドライコースで洗える洗濯物の量は、1.5kgまでです。
- 水位は41Lになり、他の設定は選べません。

※必ず表示を確認してください。

洗えるもの

 または  の表示があるもの

 または  の表示のあるもの

- ・ウール・アンゴラ・カシミアのセーター・カーディガンなど
- ・スラックス・スカート・学生服類
- ・ブラウス・シャツ・ランジェリー類

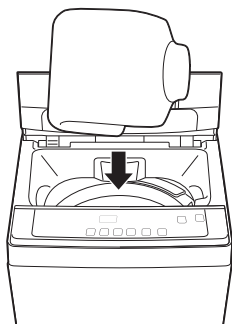
※上記でも洗えないものがあります。

洗えないもの

- ・水につけると、形くずれ・縮み・風合いの低下を起こしやすいもの
- ・皮革製品、または皮革・羽・毛皮などの飾りのあるもの
- ・シルク・レーヨン（ポリノジックを含む）・キュプラ及びその混紡品（裏地に使われているものでも洗わないでください。）
- ・スーツ・ジャケット・コート・ネクタイなど、形くずれしやすいもの
- ・コーティング・樹脂加工（接着剤を使用したもの）エンボス加工・しわ加工がほどこされたもの
- ・ちりめんなどの強撚糸を使用したもの
- ・毛布・カーテンなど大きなもの・重いもの
- ・水に浮いてしまうもの
- ・防水加工されたもの
- ・水で色落ちするもの

2 洗濯物を入れる

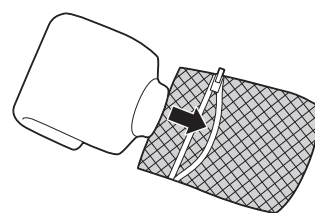
- ・入れる前に、ごみや糸くずを取り除いてください。
- ・衣類は洗濯・脱水槽に入る大きさに折りたたみ、洗濯・脱水槽の底に平らに入れてください。



- ・デリケートな衣類は洗濯用ネットに入れてください。
- ・ネットに入れたセーターなどは、汚れている方を下にしてください。
- ・洗濯用ネットを使用する場合は、他の衣類も入れてください。洗濯用ネットの衣類だけだと衣類が1か所に固まるため、脱水時の振動が大きくなります。

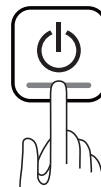
洗濯用ネットへの入れかた

- ・1枚ずつ、目の粗い市販の洗濯用ネットに入れてください。
- ・衣類は裏返して、えり・そでなど汚れたところが表に出るようにしてください。



3 水栓を開け、電源 切/入ボタンを押して電源を入れる

電源 切/入



4 コースボタンでドライコースを選ぶ

点灯
ドライ ■

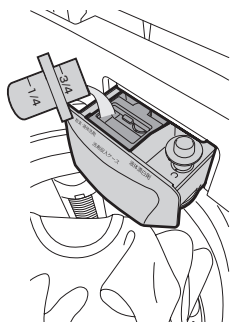


洗濯 ドライコース つづき

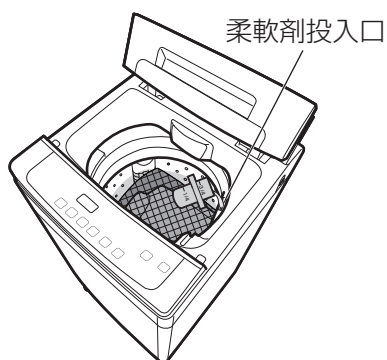
5 洗濯用洗剤・柔軟仕上げ剤を入れる

●ドライコースでは、洗濯用液体中性洗剤を使用してください。

- ・ドライコースの水位は**41L**で、他の設定は選べません。41Lの水位に合わせた量の洗濯用液体中性洗剤を入れてください。



- ・柔軟仕上げ剤も41Lの水位に合わせた量を、**柔軟剤投入口**に入れてください。



- ・柔軟剤が入れにくいときは、洗濯・脱水槽を手で回して（右回転）投入口の位置を変えてください。

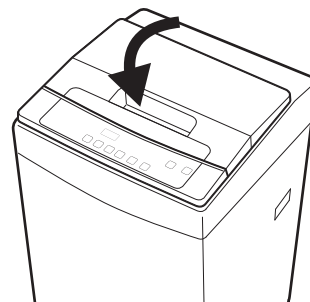


●スタート／一時停止ボタンを押した後は、洗濯・脱水槽に手で触れないでください。

- ・ドライコースでは、漂白剤は使用しないでください。



6 ふたを閉める



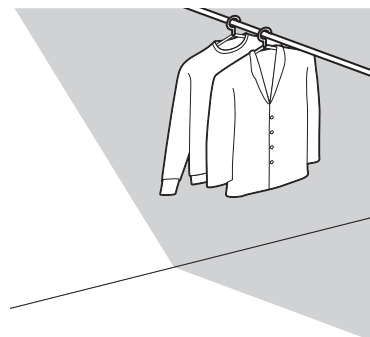
7 スタート／一時停止ボタンを押す

- ・ふたロックランプが点灯してふたロックがかかり、給水が始まります。
- ・スタート／一時停止ボタンを押した後、約1分経ってもふたが閉まっていないと、「[2]」と「-!」が交互に表示され、ブザーが鳴って洗濯は一時停止します。その場合は、ふたを閉じれば運転を再開します。



8 終了したら、洗濯物を取り出す

- ・洗濯が終了して脱水が停止すると、ふたロックランプが消灯してふたロックは解除されます。
- ・洗濯が終了すると、「ピー」と6回鳴ってお知らせします。
- ・洗濯物は早めに取り出して、しわをのばすように広げ、風通しのよい直射日光の当たらないところで乾かしてください。



- ・洗濯物を取り出した後は、水栓を閉じ、糸くずフィルターを外して掃除してください。（→P25）

洗濯 毛布コース

1 洗濯物を確認する

- 毛布コースで洗える洗濯物の量は、2.0kgまでです。
- 水位は50Lになり、他の設定は選べません。
- 毛布を洗う場合は、1回の洗濯につき1枚のみ、重さ2.0kgまでにしてください。

洗えるもの

- ・毛布

手洗い 30 または  の表示があるもの

 40 または  40 の表示のあるもの

種類：マイヤー毛布、タフト毛布、綿毛布

大きさ：シングルサイズ（140×200cm）まで

重さ：2.0kg以下

- ・カーペットカバー
- ・ベッドパッド
- ・カーテン

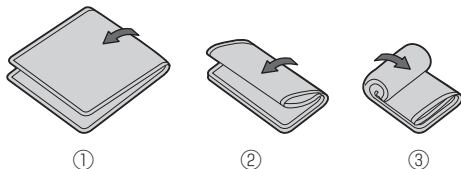
※洗える電気毛布は電気毛布の取扱説明書にしたがってください。

洗えないもの

- ・毛100%の毛布・カーペットカバー
- ・防水性のあるもの
- ・化繊以外の詰め物がされているふとんなど
- ・電気毛布・電気マット

2 洗濯物を折りたたむ

- ・折りたたむ前に、ごみや糸くずを取り除いてください。
- ・長い方を四つまたは八つに折り、短い方に巻いてください。毛布洗い用の洗濯用ネットに入れる洗濯物は、できるだけ高さを低くするように折ってください。



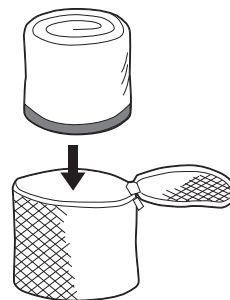
- ・マイヤー毛布以外はゆるめに巻いてください。
- ・次の洗濯物は、必ず毛布洗い用の洗濯用ネットに入れてください。

毛布

布の傷みが気になるもの

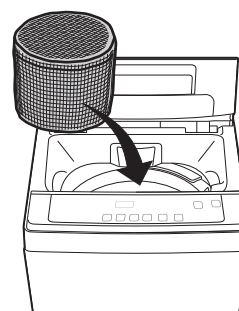
- ※毛布洗い用の洗濯用ネットに入れずに洗うと、洗濯物を傷めるおそれがあります。
- ※毛足の長いものや厚みのあるものなど、毛布洗い用の洗濯用ネットに入らないときは洗濯できません。

- ・縁のある方を下になるように洗濯用ネットに入れ、ファスナーを閉めてください。



3 洗濯物を入れる

- ・ファスナーを上側にして入れてください。



4 水栓を開け、電源 切/入ボタンを押して電源を入れる

電源 切/入



5 コースボタンで毛布コースを選ぶ

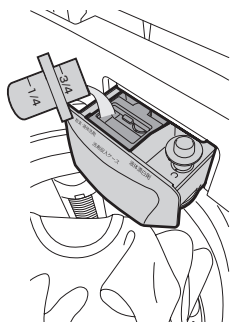
点灯
毛 布 ■



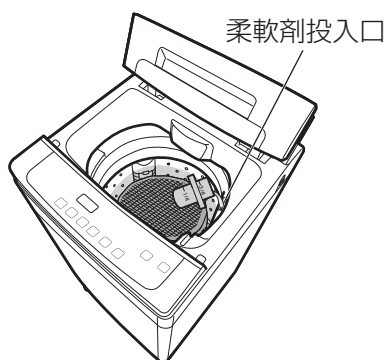
6 洗濯用洗剤、柔軟仕上げ剤を入れる

●毛布コースでは、洗濯用液体中性洗剤を使用してください。

- ・毛布コースの水位は**50L**で、他の設定は選べません。50Lの水位に合わせた量の洗濯用液体中性洗剤を入れてください。



- ・柔軟仕上げ剤も**50L**の水位に合わせた量を、柔軟剤投入口に入れてください。



- ・柔軟剤が入れにくいときは、洗濯・脱水槽を手で回して（右回転のみ）ください。

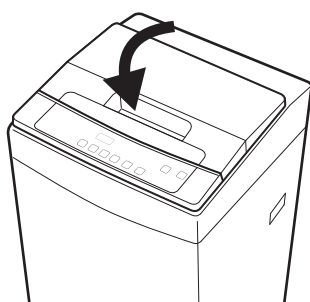


●スタート／一時停止ボタンを押した後は、洗濯・脱水槽に手で触れないでください。

- ・毛布の洗濯には漂白剤は使用しないでください。



7 ふたを閉める



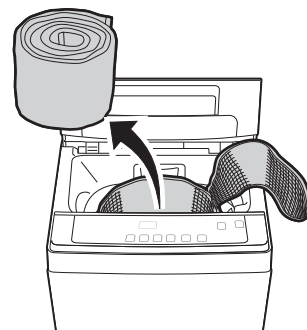
8 スタート／一時停止ボタンを押す

- ・ふたロックランプが点灯してふたロックがかかり、給水が始まります。
- ・スタート／一時停止ボタンを押した後、約1分経ってもふたが閉まっていないと、「[2]」と「-」が交互に表示され、ブザーが鳴って洗濯は一時停止します。その場合は、ふたを閉じれば運転を再開します。

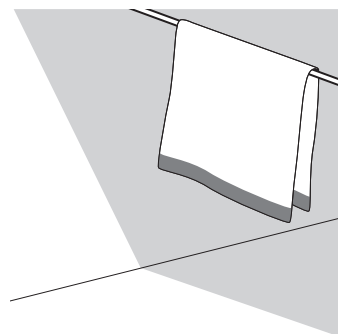


9 終了したら、洗濯用ネットのファスナーを開けて、毛布を取り出す

- ・洗濯が終了して脱水が停止すると、ふたロックランプが消灯してふたロックは解除されます。
- ・洗濯が終了すると、「ピー」と6回鳴ってお知らせします。
- ・ファスナーを開けて、先に毛布だけを取り出してください。



- ・洗濯用ネットを取り出した後は、水栓を閉じ、糸くずフィルターを外して掃除してください。（→P25）
- ・毛布などは、風通しのよい、直射日光の当たらないところで乾かしてください。



洗い時間・すすぎ回数・脱水時間を個別に設定して洗濯できる他、それぞれの行程単独での運転も可能です。

洗い+すすぎ+脱水	→■洗い・すすぎ・脱水を別々に設定して洗濯する
すすぎ+脱水	→■行程を省いて運転する
洗い+脱水	
洗い+すすぎ	
洗いのみ	→■洗いのみ運転する
すすぎのみ	→■すすぎのみ運転する
脱水のみ	→■脱水のみ運転する

■洗い・すすぎ・脱水を別々に設定して洗濯する

1 電源 切／入ボタンを押して電源を入れる

※必要に応じて水栓を開けてください。

2 コースを選ぶ

- コースボタンを押すたびに、各ランプが点灯／点滅して選択されたコースを表示します。



※通常は標準コースを選んでください。標準以外のコースでは、洗い・すすぎ・脱水を別々に設定できないものがあります。

3 洗濯物を入れる

- 8～9ページを参考に、衣類やコースに応じて適切に入れてください。

4 洗いの時間を選択する場合

- 洗いボタンを押すたびに、洗いの時間が次のように変わります。



→ 5分 → 10分 → 15分 (標準) → 20分
消灯(洗い行程なし) ←

- 洗いの行程のみの場合は、最後に排水しません。

5 すすぎの回数を選択する場合

- すすぎボタンを押すたびに、すすぎの回数が次のように変わります。



→ 1回 → 2回 (標準) → 3回
消灯(すすぎ行程なし) ←

- ※コースを選んだ後、洗いの時間の選択前にすすぎを選択すると、洗いがなしになってしまいます。その場合は、再度洗いの時間を選択してください。
- ・洗いの行程がない場合は、最初に排水→脱水から始まります。
- ・脱水の行程がない場合は、最後に排水しません。

6 脱水の時間を選択する場合

- 脱水ボタンを押すたびに、脱水時間が次のように変わります。



→ 1分 → 3分 → 6分 (標準) → 6分 + 標準
消灯(脱水行程なし) ←

- ※コースを選んだ後、洗いの時間の選択前に脱水を選択すると、洗いとすすぎがなしになってしまいます。その場合は、再度洗いの時間とすすぎ回数を選択してください。
- ※すすぎ1回コースは、洗いの時間の選択前に脱水を選択すると、すすぎがなしになり、すすぎ回数が選択できなくなります。その場合は電源 切／入ボタンを押して一旦電源を切り、再度電源 切／入ボタンを押して電源を入れて、洗いの時間を先に設定してください。
- ・次のコースを選んだときは、脱水は自動的に決まった時間に設定され、変更できません。

お急ぎ	槽洗浄	槽乾燥
脱水3分	脱水1分	脱水6分

7 必要に応じて部屋干しモードを追加する

- 部屋干しモードについては、24ページをご覧ください。

8 スタート／一時停止ボタンを押す

- ボタンを押した後は、時間表示部の数字と洗いランプが点滅し、約1分間待機します。
- 洗いの行程がない場合は、最初に排水→脱水から始まります。



- 洗いやすすぎを単独で設定すると、水位は自動的に50Lになります。水位を変更する場合は、水位ボタンで設定を変更してください。



※ 給水が進んでから水位を低く設定したときは、排水せずに、すでに給水された水量で洗濯が始まります。

9 洗濯用洗剤・柔軟仕上げ剤を入れる

- 必要に応じて漂白剤を入れてください。漂白剤の量は、漂白剤の説明にしてください。
- ※ **お急ぎ**コースで選択するときは、洗剤・柔軟仕上げ剤の量を半分にしてください。

● 洗剤は入れすぎないでください。入れすぎると泡が立ちすぎて、周囲にあふれたり、すすぎが不十分になったりします。

10 ふたを閉める

- ふたを閉めると給水が始まります。
- スタート／一時停止ボタンを押した後約1分経ってもふたが閉まっていないと、「[2]」と「-」が交互に表示され、ブザーが鳴って洗濯は一時停止します。その場合は、ふたを閉じれば運転を再開します。

11 洗濯が終了したら洗濯物を取り出す

- 洗濯が終了すると、「ピー」と6回鳴ってお知らせします。
- 洗濯物はしわにならないように、早めに広げ、適切な方法で乾かしてください。
- 洗濯物を取り出した後は、水栓を閉じ、糸くずフィルターを外して掃除してください。(→P25)

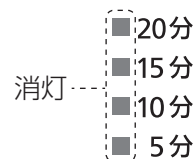
■行程を省いて運転する

- 洗い・すすぎ・脱水を省いて運転することもできます。
- それぞれ、次のように設定して、スタート／一時停止ボタンを押します。(P17の**4・5・6**の設定)

すすぎ+脱水（洗いを省く）

- 排水→脱水から始まり、設定した回数のすすぎをすると、排水→脱水をして、運転を終了します。

4 洗いをなしに設定する



5すすぎの回数を選択する



6 脱水の時間を選択する

- 部屋干しモードを追加することもできます。



※ 洗いをなしにして運転するときは、洗剤・柔軟仕上げ剤は入れないので、スタート／一時停止ボタンを押した後、すぐにふたを閉めてください。

〔例〕すすぎ2回+脱水の場合：排水→脱水→給水→すすぎ1回目→排水→脱水→給水→すすぎ2回目→排水→脱水

洗い+脱水（すすぎを省く）

- ・ 給水から始まり、洗いが終わって、脱水が完了すると運転を終了します。

4 洗いの時間を選択する



5すすぎをなしに設定する

消灯--- ■3回
 ■2回
 ■1回



6 脱水の時間を選択する

- ・ 部屋干しモードを追加することもできます。



〔例〕 洗い+脱水：給水→洗い→排水→脱水

洗い+すすぎ（脱水を省く）

- ・ 給水から始まり、設定した回数のすすぎが終了すると、排水せずに運転を終了します。（運転終了時は、水は残ったままになります。）

4 洗いの時間を選択する



5すすぎの回数を選択する



6 脱水をなしに設定する

消灯--- ■部屋干し
 ■6分
 ■3分
 ■1分



〔例〕 洗い+すすぎ2回の場合：給水→洗い→排水→脱水→給水→すすぎ1回目→排水→脱水→給水→すすぎ2回目→排水せずに終了

■ 洗いのみで運転する

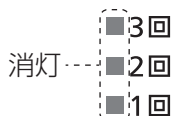
● 洗いのみで運転するときは、柔軟仕上げ剤を使用しないでください。洗いのみの場合は、柔軟仕上げ剤を柔軟剤投入口に入れると、適切に投入されません。また、原液が洗濯物に付着してしまうことがあります。

- ・ 給水から始まり、洗いが終わると、排水せずに運転を終了します。(運転終了後は、水は残ったままになります。)
- ・ 次のように設定して、**スタート／一時停止ボタン**を押します。(P17の **4・5・6** の設定)

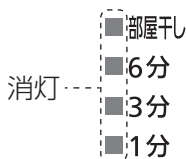
4 洗いの時間を選択する



5 すすぎをなしに設定する



6 脱水をなしに設定する



※ 洗いを単独で設定すると、水位は自動的に50Lになります。変更する場合は、水位ボタンで選択してください。



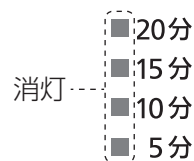
〔例〕 洗いのみの場合：給水→洗い→排水せずに終了

■ すすぎのみで運転する

● すすぎのみで運転するときは、柔軟仕上げ剤を使用しないでください。すすぎのみの場合は、柔軟仕上げ剤を柔軟剤投入口に入れると、適切に投入されません。また、原液が洗濯物に付着してしまうことがあります。

- ・ 排水から始まり、すすぎが終わると、排水せずに運転を終了します。(運転終了後は、水は残ったままになります。)
- ・ 次のように設定して、**スタート／一時停止ボタン**を押します。(P17の **4・5・6** の設定)

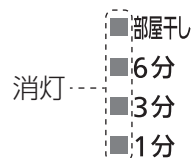
4 洗いをなしに設定する



5 すすぎの回数を選択する



6 脱水をなしに設定する

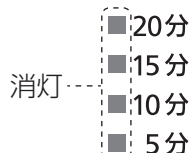


〔例〕 すすぎ2回の場合：排水→脱水→給水→すすぎ1回目→排水→脱水→給水→すすぎ2回目→排水せずに終了

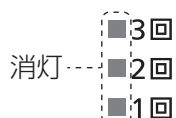
■ 脱水のみで運転する

- ・排水から始まり、脱水が終わると、運転を終了します。
- ・次のように設定して、**スタート／一時停止**ボタンを押します。(P17の**4・5・6**の設定)

4 洗いをなしに設定する



5 すすぎをなしに設定する



6 脱水の時間を選択する

- ・部屋干しモードを追加することもできます。



〔例〕脱水6分＋部屋干しの場合：排水→脱水6分→部屋干しモード運転（60分）→終了

■ 排水だけする

- ・脱水をなしに設定すると、排水せずに終了します。排水だけをしたいときは、次のようにします。

- ①再度、**電源 切／入**ボタンを押して電源を入れ、洗い：なし、すすぎ：なし、脱水：1分を選択する
- ②**スタート／一時停止**ボタンを押す
 - ・排水が始まります。
- ③排水が済んだら、脱水が始まる前に、**スタート／一時停止**ボタンを押す
 - ・運転が一時停止します。
- ④**電源 切／入**ボタンを押して電源を切る

タイマー予約洗濯

洗濯の終了時間を予約して洗濯することができます。

1 水栓を開け、電源 切／入ボタンを押して電源を入れる

2 コースを選ぶ

- ・コースボタンを押すたびに、各ランプが点灯／点滅して選択されたコースを表示します。

※ ドライ・槽洗浄のコースでは、予約はできません。

3 洗濯物を入れる

- ・7～9ページを参考に、衣類やコースに応じて適切に入れてください。

4 予約ボタンで洗濯の終了時間を設定する

- ・予約ボタンを押すたびに、洗濯終了時間の表示が1～24（時間単位）に変わります。（予約ボタンを押す前は、洗濯の残り時間表示：分単位）

※ つけおきコースは2～24に変わります。

※ 24の表示のときにさらに予約ボタンを押すと、予約なしのときの残り時間表示（分単位）に戻ります。さらに予約ボタンを押すと、再度洗濯終了時間の設定表示になります。



5 スタート／一時停止ボタンを押す

- ・パルセーターが回り、洗濯物の量を検知して、水位を表示します



(洗剤量)
0.8杯 ■ 50L
0.6杯 ■ 41L
0.4杯 ■ 33L
0.3杯 ■ 23L(手動)

水位を変更するとき

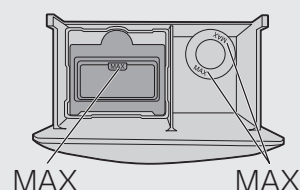
- ・軽い洗濯物（化繊の衣類・シーツなど）を入れたときは、水位が低く設定されることがあります。また、ぬれた衣類を入れると、水位が高く設定されることがあります。このようなときは、水位ボタンで設定を変更してください。



6 表示にしたがって、洗剤投入ケースに洗濯用洗剤を、柔軟剤投入口に柔軟仕上げ剤を入れる

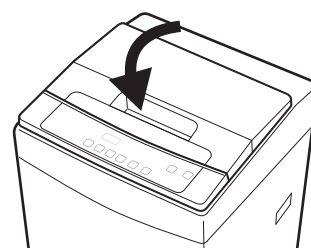
- ・洗剤は、種類に応じて、11ページを参考に適切に投入してください。
- ・必要に応じて漂白剤・柔軟仕上げ剤を入れてください。（11ページを参考にしてください。）
- ※ 粉石けんは使用しないでください。溶けにくいので、衣類に洗剤が残るおそれがあります。
- ※ お急ぎコースで選択するときは、洗剤の量を半分にしてください。

- 洗剤は入れすぎないでください。入れすぎると泡が立ちすぎて、周囲にあふれたり、すすぎが不十分になったりします。
- 洗剤投入ケースが十分乾いていることを確認してください。ぬれていると、粉末合成洗剤などは固まってしまうことがあります。
- 洗剤・漂白剤は、ケース内のMAX目盛より多く入れないでください。運転開始前に全部流れ出てしまい、効果が出ません。



7 ふたを閉める

- ・ふたを閉めると、運転が開始されるまでの間、予約時間が点滅表示されます。



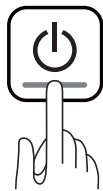
- ・予約ボタンを押すと、予約内容が確認できます。

チャイルドロックモード

予約を取り消すには

- 電源 切／入ボタンを押して、電源を切にしてください。

電源 切/入



予約を変更するには

- 電源 切／入ボタンを押して電源を切り、再度電源 切／入ボタンを押して電源を入れて、設定し直してください。

運転開始時間になると

- 予約した時間後に終わるように、設定された時間になると運転が開始されます。
- 時間表示は、洗濯の残り時間表示に切り替わり、**ふたロック**ランプが点灯してふたロックがかかり、給水が始まります。
- ふたが閉まっていないと、「[?]」と「[- !]」が交互に表示され、ブザーが鳴って洗濯は一時停止します。その場合は、ふたを閉じれば運転を再開します。

8 洗濯が終了したら洗濯物を取り出す

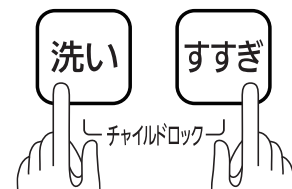
- 洗濯が終了して脱水が停止すると、**ふたロック**ランプが消灯してふたロックは解除されます。
 - 洗濯が終了すると、「ピー」と6回鳴ってお知らせします。
 - 水栓を閉じ、糸くずフィルターを外して掃除してください。(→P25)
 - 洗濯物はしわにならないように、早めに広げ、適切な方法で乾かしてください。
- ※ 予約時間と実際の終了時間は、給水や排水などの条件により多少異なります。

洗濯しているときに、幼児が誤って洗濯・脱水槽に落ちないように、**チャイルドロックモード**を入にすることができます。

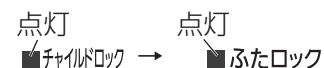
チャイルドロックモードを入にすると、電源が入になっている間、**ふたロック**が自動でかかります。

チャイルドロックモードを入／切するには

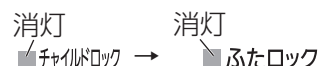
- 電源が入っていて、ふたが閉まっているときに、**洗い**ボタンと**すすぎ**ボタンを同時に押すと、**チャイルドロックモード**の入／切を切り替えることができます。
- ※ 洗剤・柔軟仕上げ剤は先に投入してから、ふたを閉め、チャイルドロックを入にしてください。
- ※ チャイルドロックは、運転中でも入／切することができます。



- チャイルドロックモード**が入になると、**チャイルドロック**ランプが点灯し、数秒後に**ふたロック**がかかります。



- チャイルドロックモード**を切にすると、**チャイルドロック**ランプは消灯し、数秒後に**ふたロック**が解除されます。



- 洗濯が終了し電源が切れると、**ふたロック**は解除されます。ふたを開けて、洗濯物を取り出してください。



- ※ **チャイルドロックモード**は、解除操作をしないかぎり、電源を切っても入のままです。

チャイルドロックが入のままで、ふたが開いた状態で電源を入れると、**チャイルドロック**ランプが点灯して、「[?]」と「[- !]」が交互に表示され、「ピー」と警告音が鳴ります。(洗濯・脱水槽に水が残っている場合は、排水します。)

この場合は、ふたを閉めてもエラーは消えないので、電源 切／入ボタンを押して電源を切り、再度電源を入れてから、**チャイルドロックモード**を解除してください。

部屋干しモード

部屋干しモードは、洗濯・脱水槽の回転で、湿った空気を排出し、洗濯物の水分を飛ばします。

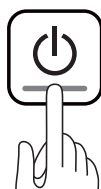
※ 部屋干しモードは温風乾燥ではありません。完全には乾かず、風で乾燥させるため、部屋干しモード使用後の洗濯物は冷たく感じる場合があります。

※ 洗濯物の量が多いと、しわが付きやすくなります。しわの取れにくい衣類は部屋干しモードを使用しないでください。

※ フリースなどの軽い衣類は、槽外へ飛び出すことがあります。故障・破損の原因になるので、注意して扱ってください。

1 水栓を開け、電源 切／入ボタンを押して電源を入れる

電源 切／入



2 コースを選ぶ

- コースボタンを押すたびに、各ランプが点灯／点滅して選択されたコースを表示します。



● コースを選んだ後に脱水を選択すると、洗いとすすぎはなしになります。再度洗い時間とすすぎ回数を選択してください。水位を変更したい場合は、水位ボタンで設定を変更してください。

※ ドライ・お急ぎ・槽洗浄・槽乾燥コースでは、部屋干しモードは使用できません。

※ 洗いとすすぎなしの部屋干しモードだけの運転もできます。標準コースを選んで、洗いとすすぎをなしに設定してください。

3 洗濯物を入れる

- 8～9ページを参考に、衣類やコースに応じて適切に入れてください。

4 脱水ボタンを押して部屋干しを選ぶ

- 脱水ボタンを押すたびに、脱水時間が次のように変わります。



→ 1分 → 3分 → 6分(標準) → 6分 + 標準 ←
消灯(脱水行程なし)

- 部屋干しを選んだときは、脱水の6分も点灯します。

5 スタート／一時停止ボタンを押す

- 洗濯が始まります。表示にしたがって、洗濯用洗剤・漂白剤・柔軟仕上げ剤を投入後、ふたを閉めてください。
- 洗いの行程が始まると、ふたロックランプが点灯してふたロックがかかります。
- 給水終了前に必ずふたを閉めてください。
ふたが閉まっていないと、「[?]」と「[-!」が交互に表示され、ブザーが鳴って洗濯は一時停止します。その場合は、ふたを閉じれば運転を再開します。



※ 所要時間の合計が100分以上になったときは、残時間は99(分)と表示されます。98分以下になると、通常通り分単位で表示されます。

- 6分間の脱水の終了後、約60分、部屋干しモード運転します。

6 部屋干しモード運転が終了したら、洗濯物を取り出す

- 洗濯が終了して脱水が停止すると、ふたロックランプが消灯してふたロックは解除されます。
- 洗濯が終了すると、「ピー」と6回鳴ってお知らせします。
- 水栓を閉じ、糸くずフィルターを掃除してください。(→P25)
- 洗濯物はしわにならないように、早めに広げ、適切な方法で乾かしてください。

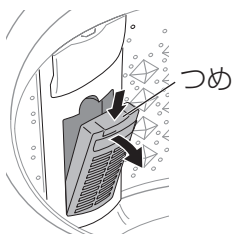
お手入れ

- シンナー、アルコール、ベンジン、アルカリ性・酸性の強い洗剤、漂白剤などは使用しないでください。

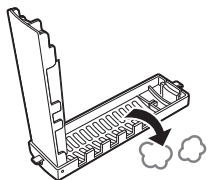
■糸くずフィルター

洗濯後毎回お手入れしてください。

- 1 フィルターケースのつめを押し下げて、手前に引いて取り出す

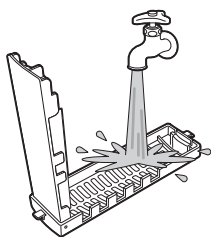


- 2 フィルターカバーを開け、糸くずを取り除く

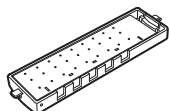


※糸くずのたまる量は衣類によって異なります。糸くずがたまっていなくても、衣類に汚れが付着していなければ問題ありません。

- 3 水洗いする



- 4 フィルターカバーをしっかり閉じる



- 5 元どおりフィルターケースを取り付ける

- ・フィルターケースの上下を確認し、下端を差し込んで、上部をカチッと鳴るまで押し込んでください。



■本体外側

洗剤が付いたり、汚れているときはお手入れしてください。

水またはぬるま湯（40℃以下）を含ませたやわらかい布をよく絞って、汚れを拭き取る

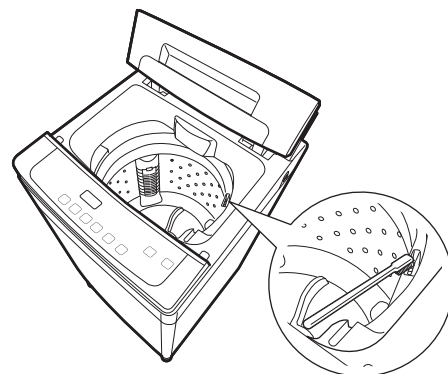
※汚れが落ちにくいときは、薄めた中性洗剤を含ませた布で拭いた後、固く絞った布などで洗剤分を拭き取ってください。



■柔軟剤投入口

汚れているときはお手入れしてください。

不要な歯ブラシなどでこすり、汚れを落とす



柔軟剤投入口

■洗濯・脱水槽（槽洗浄）



- 塩素系漂白剤は、酸性のものや液体と絶対に混ぜないでください。
- 塩素系漂白剤が洗濯・脱水槽に付着しないように、必ず給水しているときに使用してください。
- 塩素系漂白剤が壁や本体外側に付いたときは、速やかに拭き取り、しばらくの間、換気扇を回してください。

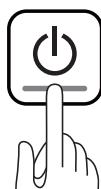
洗濯機内部がかび臭いときや、汚れが目立つとき、洗濯物に洗剤かすが付着するようなときは、槽洗浄を行ってください。

槽洗浄用クリーナーについて

- ・ 槽洗浄には市販の塩素系漂白剤を使用してください。
- ・ 汚れがひどいときは、市販の槽洗浄用クリーナー（塩素系）を使用してください。
- ・ 塩素系漂白剤・槽洗浄用クリーナーの分量については、塩素系漂白剤・槽洗浄用クリーナーの表示にしたがってください。
塩素系漂白剤は、表示がない場合は、約300mL使用してください。

1 水栓を開け、電源 切／入ボタンを押して電源を入れる（ふたは開けたまま）

電源 切/入



2 コースボタンで槽洗浄を選ぶ

- ・ 水位は50Lになり、他の設定は選べません。



3 ふたを閉め、スタート／一時停止ボタンを押す

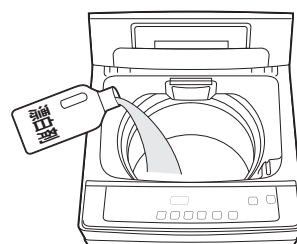


- ・ ふたロックランプが点灯してふたロックがかかり給水が開始されます。
- ・ スタート／一時停止ボタンを押した後約1分経ってもふたが閉まっていないと、「[?]」と「- !」が交互に表示され、ブザーが鳴って洗浄は一時停止します。その場合は、ふたを閉じれば運転を再開します。

4 給水が終了した後に、スタート／一時停止ボタンを押し、ふたロックランプが消灯したらふたを開ける



5 塩素系漂白剤または槽洗浄用クリーナーを、洗濯・脱水槽に入れる



6 ふたを閉め、スタート／一時停止ボタンを押す



- ・ ふたロックランプが点灯してふたロックがかかり給水が開始されます。
- ・ つけおき+洗いで23分、すすぎ1回、脱水1分で洗浄を行います。
- ・ スタート／一時停止ボタンを押した後、約1分経ってもふたが閉まっていないと、「[?]」と「- !」が交互に表示され、ブザーが鳴って洗浄は一時停止します。その場合は、ふたを閉じれば運転を再開します。

7 槽洗浄が終了し脱水が止まったら、ふたを開け、糸くずフィルターをお手入れする

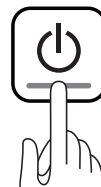
- ・ 洗浄が終了して脱水が停止すると、**ふたロックランプ**が消灯してふたロックは解除されます。
 - ・ 終了すると、「ピー ♪」と6回鳴ってお知らせします。
- ※ 糸くずフィルターに、洗剤かすなどのごみがたまります。そのままにしておくと、洗濯物にごみが付くことがあるので、必ずお手入れしてください。
- ※ 水栓を閉じてください。

■洗濯・脱水槽（槽乾燥）

洗濯終了後に槽乾燥をすると、かびの発生をおさえることができます。

1 電源 切／入ボタンを押して電源を入れる

電源 切/入



2 コースボタンで槽乾燥を選ぶ

点滅



3 スタート／一時停止ボタンを押す

- ・ 洗濯・脱水槽とパルセーターが高速で回転し、洗濯・脱水槽を乾燥させます。
- ・ 運転開始前に必ずふたを閉めてください。
ふたが閉まっていないと、「[?]」と「- !」が交互に表示され、ブザーが鳴って運転は一時停止します。その場合は、ふたを閉じれば運転を再開します。



- ・ 終了すると、「ピー」と6回鳴ってお知らせします。
- ※ 黒かびや洗剤かすは槽乾燥では取り除けません。槽洗浄を行ってください。

コース一覧

コース	ランプ	水位	つけおき	洗い	すすぎ	脱水	部屋干しモード	所要時間
標準	点灯 標準 ■	23~50L	-	15分	2回	6分	60分※ ¹	45~55分※ ²
すすぎ1回	点灯 すすぎ1回 ■	23~50L	-	15分	1回	6分	60分※ ¹	39~46分※ ²
毛布	点灯 毛布 ■	50L	-	15分	2回	6分	60分※ ¹	55分※ ²
ドライ	点灯 ドライ ■	41L	-	10分	2回	3分	-	43分
つけおき	点滅 つけおき ■	23~50L	30分	15分	2回	6分	60分※ ¹	75~85分※ ²
お急ぎ	点滅 お急ぎ ■	23~50L	-	5分	1回	3分	-	22~28分
槽洗浄	点滅 槽洗浄 ■	50L	20分※ ³	3分※ ³	1回	1分	-	42分
槽乾燥	点滅 槽乾燥 ■	-	-	-	-	6分※ ⁴	-	16分

※ 洗い・脱水の時間、所要時間は目安です。

※ 洗い・すすぎ・脱水の時間は、それぞれのコースの標準設定です。**洗い・すすぎ・脱水**のボタンで変更できます。（コースによっては変更できないものもあります。）

※ つけおき中は、時々パルセーターが回転します。

※ 水位の23Lは、**水位**ボタンで選んだときのみ設定できます。

※ 所要時間は、給水（15L／分で計算）・排水の時間が含まれます。

※¹ **部屋干しモード**は**脱水**ボタンで部屋干しを選んだときのみ運転します。

※² 所要時間は**部屋干しモード**の時間を含みません。

※³ 洗い20分が点灯しますが、内訳はつけおき20分・洗い3分です。

※⁴ 脱水6分が点灯しますが、所要時間は16分（目安）です。

故障かな？と思ったら

使用中に異常が生じた場合は、修理を依頼される前に本書をよくお読みのうえ、以下の点を確認してください。

状 態	考えられる理由	処 置
洗濯が スタートしない	●電源が入っていない	●電源 切／入ボタンを押して電源を入れてください。
	●ふたが開いたままになっている ●ふたがきちんと閉まっていない	●ふたをきちんと閉めてください。 ●ふたの下に異物がはさまっていないか確認してください。
	●タイマー洗濯予約になっている	●すぐに洗濯する場合は、一旦電源 切／入ボタンを押して電源を切り、再度電源 切／入ボタンを押して電源を入れて、洗濯してください。
電源が入らない	●電源プラグがコンセントに確実に差し込まれていない	●電源プラグをコンセントに確実に差し込んでください。
水もれする	●給水ホースが水栓と確実に接続されていない	●給水ホースを水栓と確実に接続してください。 (→据付説明書)
	●給水ホースのコネクターと水栓が合っていない	●給水ホースのコネクターと水栓の形状が合っていないときは、ホースに付属している継手を水栓に取り付けてください。(→据付説明書)
	●給水ホース付属のホース継手が確実に水栓に取り付けられていない	●給水ホース付属のホース継手は、水栓に、すき間のないように確実に取り付け、しっかりねじを締めてください。(→据付説明書)
	●排水口がつまっている	●洗濯機を取り外し、排水口を掃除してから、再度洗濯機を設置し直してください。(→据付説明書)
	●排水ホースが排水口から外れている	●洗濯機を取り外し、排水ホースを排水口に確実に接続してください。
初めて使用したときに、 排水ホースから水が出た	●出荷時の性能テストの水が残っていた	●異常ではありません。安心してご使用ください。
排水中に ゴボゴボという音がする	●排水が空気と混ざる音をする	●異常ではありません。

故障かな？と思ったら つづき

状 態	考えられる理由	処 置
排水されない	● 排水ホースが排水口に接続されていない	● 排水ホースを、排水口に正しく接続してください。(→据付説明書)
	● 排水口がつまっている	● 排水口を掃除してください。
	● 排水ホースが持ち上がっている	● 排水ホースが、床面から10cm以上持ち上がらないように引き回してください。
給水されない	● すずぎから始まる運転を選んだときは、最初に排水・脱水する	● 最初に給水する必要があるときは、洗いから始めるように設定してください。(→P17)
	● 水栓が開いていない	● 水栓を開けてください。
	● ふたが閉まっていない	● ふたを確実に閉めてください。
洗濯の途中で給水される	● 洗濯中に水位が下がると、自動的に不足分を給水する	● 故障ではありません。
	● すずぎ中は、給水しながら運転する	● すずぎ時は最初は少なめの水位で、給水しながら運転します。故障ではありません。
脱水の途中で給水される	● 洗濯物の片寄りを検知すると、一時停止して、給水して片寄りを修正する	● 異常ではありません。給水後再び脱水になります。片寄りが修正しきれないときは、ブザーが鳴って停止します。
ブザーが鳴って、脱水が途中で停止する	● 洗濯物が片寄っていて脱水できない	● 洗濯物の片寄りを検知すると、一時停止して、給水して片寄りを修正しますが、修正しきれないときは停止します。ふたを開け、洗濯物の片寄りを手で直してください。(必ず、脱水が完全に停止してから行ってください。)
洗濯物の量に水位が合っていない	● 軽い衣料、水にぬれて重くなった衣料などを洗濯した	● 洗濯の水位は最初のパルセーターの回転で検知します。軽い衣料や水にぬれて重くなった衣料などを洗濯するときは、 水位 ボタンで水位を変更してください。(→P10)
洗濯物に糸くずが付く	● 前回の洗濯物の糸くずがたまっていた	● 洗濯後毎回糸くずフィルターをお手入れしてください。(→P25)
	● 色の濃い衣料などは糸くずが目立つ	● 市販の糸くず防止洗濯用ネットを使用してください。
洗濯物にごみが付く	● 洗濯・脱水槽が汚れている(洗剤かす・かびなど)	● 槽洗浄 を行ってください。槽洗浄した後は、糸くずフィルターをお手入れしてください。(→P25)

状 態	考えられる理由	処 置
洗濯物に しみが付く	● 柔軟仕上げ剤が部分的に付いて、しみになることがある	● 柔軟仕上げ剤は直接衣類にかけないで、 柔軟剤 投入口に入れてください。(→P11)
洗濯物が黄ばむ	● 断水などの後、鉄さびなどにごった水を使用した	● 断水などの後は、水がきれいになるのを待って使用してください。 ● 白い洗濯物が黄ばんでしまったときは、市販の還元型漂白剤を使用してください。(色物・柄物には使用できません。)
洗濯物が 傷む・毛羽立つ	● デリケートな洗濯物を 標準 コースで洗っている	● デリケートな洗濯物は、洗濯用ネットに入れる・ ドライ コースで洗濯するなどしてください。 ● 毛羽立ちやすい洗濯物は裏返して洗濯するなどしてください。
洗濯物に 洗剤が付く	● 水温が低いと洗剤が溶けにくい	● 水温が低いときは、ふろの残り湯を使用するなどしてください。
	● 洗濯物が軽かったり、分厚かったりすると、水に浮いて、洗剤が残りやすくなる	● 軽いものや分厚いものは、下の方に沈めて洗濯してください。
	● 粉石けんを使用している	● 粉石けんは溶けにくいことがあります。別な容器に約30℃のぬるま湯を用意し、溶かしてから使用してください。(→P11)
色移りする	● 色落ちしやすいものを一緒に洗濯している	● 色落ちしやすいものは、色別にして洗濯してください。
汚れが 落ちにくい	● 洗濯物を入れすぎている	● 洗濯物の量を適正に減らしてください。
	● 洗剤が少ない	● 洗濯用洗剤は、洗剤量のランプや、洗剤のパッケージの表記にしたがって、適正な量を入れてください。
	● 洗濯物の汚れが激しい	● 汚れの激しい洗濯物は、 つけおき コースで洗ったり、 洗い ボタンで洗いの時間を長くしたりして洗濯してください。
	● 落ちにくい汚れが付いている	● 泥や食べこぼしなど、落ちにくい汚れは、拭き取るなどの前処理をしてください。
洗濯物が ごわごわする	● パイル地のタオルなどは、パイルが寝て、ごわつく	● 柔軟仕上げ剤を使用してください。

故障かな？と思ったら つづき

状 態	考えられる理由	処 置
洗濯物がにおう	●洗濯・脱水槽が汚れている（かびなど）	● 槽洗浄 を行ってください。（→P26～27）
	●洗濯物を生乾きのまま放置した	●洗濯物は、洗濯終了後できるだけ早く取り出し、適正な方法で乾かしてください。
	●においの付いたふろの残り湯などを使用した	●においのする入浴剤が入っていたり、残り湯が古くなってにおいが付いたりした場合は、使用しないでください。
部屋干しモード運転したのに乾きが悪い	●部屋干しモードは温風を使用しないため、室温や湿度によって乾きに差が出る	●乾きが足りないときは、洗いとすすぎをなしにして、脱水 6分 ＋ 部屋干しモード だけの追加運転をしてください。
音大きい 振動する	●電源コード・給水ホース・排水ホースなどが、洗濯機本体に当たっている	●電源コード・給水ホース・排水ホース、または本体の位置を調整して当たらないようにしてください。
	●金属の小物などと一緒に洗濯している	●金属の小物などは、ポケットなどから取り出して洗濯してください。
	●ファスナーやボタンなどが洗濯・脱水槽の内側に当たっている	●ファスナーやボタンは閉じて洗濯してください。 ●ファスナーやボタンなどがおもて側に出ている衣類は、裏返しにして洗濯してください。
	●設置が悪く、がたついている	●水平で安定した場所に据え付けし直してください。
	●洗濯物が片寄っている	●洗濯物が片寄っていると、脱水時振動が大きくなります。 スタート／一時停止 ボタンを押して一時停止させ、ふたを開けて洗濯物の片寄りを直してください。
洗濯が止まる エラー表示： F2 F3 F5 E9-5	●故障している	● 電源 切／入 ボタンを押して電源を切り、電源プラグを抜いて、アイリスコールへご連絡ください。
洗濯が止まる エラー表示：[1	●排水ホースが正しく取り付けられていない	●排水ホースの取り付け状態を確認してください。確認後、ふたを開閉して、再度 スタート／一時停止 ボタンを押してください。
	●排水ホースがつまっている	●排水ホースを点検して、つまっているものを取り除いてください。取り除ききれないときは、アイリスコールへご相談ください。

状 態	考えられる理由	処 置
洗濯が止まる エラー表示： [2 -1]	●ふたが閉まっていない	●ふたをきちんと閉めてください。 ●ふたに異物がはさまっていたら、取り除いてください。 ●チャイルドロックが入になっている場合は、チャイルドロックモードを解除してください。(→P23)
洗濯が止まる エラー表示： [2 -3]	●ふたロックがかからない	●ふたロック部に異物がはさまっている場合は、取り除いてください。 ●ふたがきちんと閉まってない場合は閉めてください。
洗濯が止まる エラー表示：[3]	●洗濯物が片寄っていて脱水ができない	●ふたを開け、洗濯物の片寄りを直してください。
	●洗濯物の量が多い ●洗濯用ネットに大量の洗濯物を詰め込んで洗濯している ●大きな洗濯物を洗濯している	●洗濯物の量を減らしてください。 ●洗濯用ネットに入れる洗濯物は小分けにしてください。 ●大きな洗濯物は毛布コースで、記載を守って洗ってください。(→P15)
	●洗濯用ネットに入れた洗濯物が洗濯物の上の方にあるので、動作が不安定になる	●洗濯用ネットに入れた洗濯物は洗濯物の下の方に入れ直してください。
	●設置が悪くがたついている	●水平で安定した場所に据え付けし直してください。
洗濯が止まる エラー表示：[5]	●水栓が開けられていない	●水栓を開いてください。
	●水道が凍結したり断水したりしている	●水道が復旧するまで使用を停止してください。
	●給水口にゴミがつまっている	●据付専門業者またはアイリスコールへご連絡ください。
洗濯が止まる エラー表示：[7]	●モーターに大きな負荷がかかっている	●電源 切/入ボタンを押して電源を切り、電源プラグを抜いて、洗濯・脱水槽に布などが巻きついていないか確認し、アイリスコールへご連絡ください。 ※ このエラーが発生したときは、洗濯物は脱水されずに停止します。 ※ 危険ですので、お客様自身での修理は行わないでください。

それでも解決できないときは
お買い上げの販売店またはアイリスコールにお問い合わせください。



警告

●自分で分解・修理・改造
しないでください。

仕様

種類	全自動電気洗濯機	
定格電圧	AC100V	
定格電源周波数	50Hz	60Hz
定格消費電力	255W	300W
標準洗濯容量	6.0kg	
標準脱水容量	6.0kg	
標準使用水量	132L	
標準水量	50L	
防水レベル	IPX4	
外形寸法	幅555×奥行525×高さ920mm	
質量	31kg	

※ 商品の仕様は予告なく変更することがあります。

長年ご使用の洗濯機の点検を！		
愛情点検 	こんな症状はありませんか	● 電源プラグ・電源コードが異常に熱くなったり、こげくさいにおいがする ● 本体に触れるとピリピリ電気を感じる ● 運転中に異常な振動がある ● 洗濯・脱水槽がなかなか止まらない ● 電源を入れても動かないことがある ● 本体やホースから水もれする ● 洗濯機がガタつく ご使用中止 故障や事故防止のため、電源を切って、コンセントから電源プラグを抜き、水栓を閉めて、必ず販売店に点検を依頼してください。

長期使用製品について

経年劣化による発火・けがなどの事故に至るおそれがあることを注意喚起するために、電気用品安全法で義務付けられた以下の内容を、製品本体に表示しています。

【製造年】

【設計上の標準使用期間】

■設計上の標準使用期間

JIS基準に基づく標準的な使用条件下で使用した場合に、安全上支障なく使用することができる標準的な期間のことです。無料修理を行う保証期間とは異なります。

標準的な使用条件（JIS基準に基づく）

環境条件	電圧	AC100V
	周波数	50 / 60Hz
	温度	20℃
	湿度	65%
負荷条件	負荷	標準容量
	コース	標準コース
	給水圧	0.03 ~ 0.8MPa
	給湯・給水温度	20±15℃
想定時間	1日の平均使用回数	1.5回
	1回の使用時間	標準コースの時間
	1年間の使用日数	365日
	1年間の使用回数	1.5回×365日=547.5回/年



注意

製品の劣化や故障は様々な要因に影響されます。上記の標準的な使用期間に満たない場合でも、異常が見られたときには、直ちに使用を中止し、お買い上げの販売店またはアイリスコールにご相談ください。

保証とアフターサービス

必ずお読みください。

■保証書

お買い上げの際に、所定の事項が記入されている保証書をお買い上げの販売店より必ずお受け取りください。

保証書がないと、保証期間内でも代金を請求させていただく場合がありますので、大切に保管してください。

■保証期間

保証期間は、保証書に記載されています。

保証期間内に故障した場合は、保証規定にしたがって修理させていただきます。

■保証期間経過後の修理

お買い上げの販売店またはアイリスコールにご相談ください。修理により製品の機能が維持できる場合は、ご要望により有料にて修理いたします。

■補修用性能部品の保有期間について

当社はこの製品の補修用性能部品の製造打ち切り後、6年間保有しています。

性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■アフターサービスについて

ご不明な点はお買い上げの販売店またはアイリスコールにお問い合わせください。

アイリスオーヤマ株式会社 〒980-8510 仙台市青葉区五橋2丁目12番1号
ホームページ <http://www.irisohyama.co.jp/>

製品及び修理に関するお問い合わせは

アイリスコール (通話料無料)

0800-919-0770

受付時間 平日 9:00～17:00、土・日・祝日 9:00～12:00 / 13:00～17:00
(年末年始・夏期休業期間・会社都合による休日を除く)

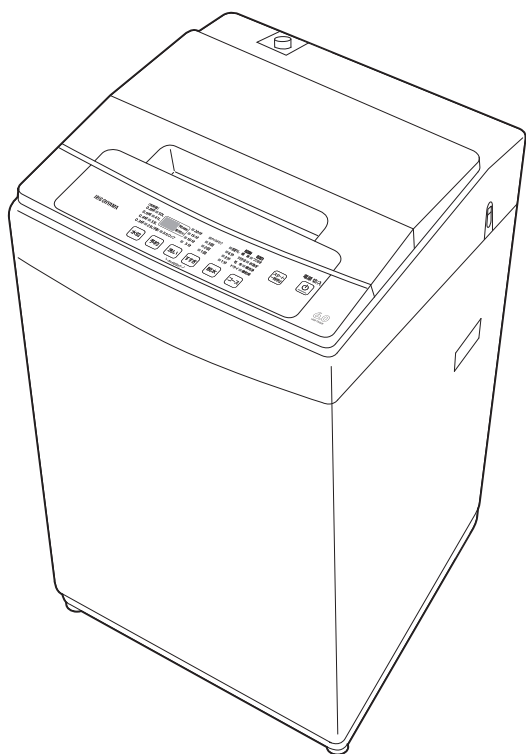
FAX でのお問い合わせは (通話料無料)

0800-888-2600

Web からの問い合わせは

<https://www.irisohyama.co.jp/support/>

メールフォームにご記入のうえ送信してください



全自動洗濯機

IAW-T602E

据 付 説 明 書

据え付けされる方へ

- 据え付け前に、「安全上の注意」をよく読んで、正しく据え付けてください。
- 製品の機能が十分発揮されるように、この据付説明書にしたがって正しく取り付けてください。
- 据え付け終了後、必ず「チェックシート」にしたがって確認をしてください。
- 据え付け終了後、必ず試運転を行ってください。
- 異常のないことを確認した後、この据付説明書はお客様にお渡しください。

もくじ

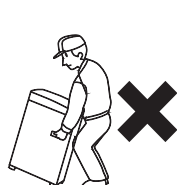
本体運搬時の注意.....	1
安全上の注意	2
付属品の確認	3
据え付け関連部品.....	4
据え付け	5

お客様へ

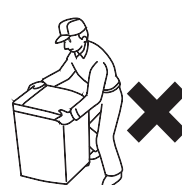
- この据付説明書は、取扱説明書とともに大切に保管してください。

本体運搬時の注意

- 本体にひざを当てて運ばないでください。
- 衣類投入口を持って運ばないでください。
破損・変形のおそれがあります。



- 本体を引きずって移動しないでください。
床を傷つけたり、脚が破損したり、振動・異音が発生したりします。



安全上の注意

最初に、この「安全上の注意」をよく読んでいただき、正しく使用してください。
人への危害や、財産への損害を未然に防止するため、必ず守る必要があることを説明しています。

図記号の意味



注意を促す記号です。



禁止を示す記号です。



必ず行うことを示す記号です。



警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う
おそれがある内容を示しています。

電源プラグ・電源コードは正しく使う



- 電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込む
ショートによる火災・感電の原因になります。
- 電源は交流100V、定格15A以上のコンセントを単独で使う
火災の原因になります。



ぬれ手禁止

- ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしない
感電・やけど・けがの原因になります。



- 電源コードをたばねて使用しない
過熱してやけど・火災の原因になります。
電源コードは、必ずのばして使用してください。
- 洗濯機を電源プラグに押しつけない
据え付け時は、洗濯機で電源プラグを押しつけないように注意してください。



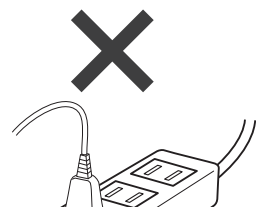
- 電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使わない
ショートによる火災・感電の原因になります。電源コードが破損したときは、絶対に自分で修理せず、アイリスコールへお問い合わせください。

- 電源コードを傷つけない

- 電源コードを引っ張らない

傷つける、加工する、無理に曲げる、引っ張る、ねじる、重い物を載せる、挟み込むなどしないでください。
電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。

- コンセントや延長コードなどの定格を超える使いかたをしない
火災の原因になります。



据え付けについて



水ぬれ禁止

- 水まわり、浴室など湿気のある場所には絶対に据え付けない
- ベランダ・庭など風雨にさらされる場所に据え付けない
火災・感電の原因になります。



アースを必ず接続

- アースを必ず取り付ける
故障したり漏電したりしたときに、感電のおそれがあります。
- アース線は、ガス管や水道管、電話線や避雷針のアース線には絶対に接続しない
爆発・火災の原因になります。

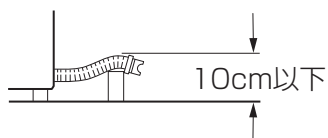


注意

誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり、物的損害が発生するおそれがある内容を示しています。



- 排水ホースは高さ10cm以内にする
- 据え付け後や移設後は、水栓を開いて、水もれがないか確認する
水もれがあるときは、もう一度各接続部を点検してください。



- 排水ホースをたるませない
- 排水ホースはねじらない
排水ができなかったり、逆流したりすることがあります。
また、本体内部で他の部品と接触すると、ホースが破れるおそれがあります。



- 給水ホースと本体の給水口は確実に接続する
- 洗濯前は、水栓を開けて、給水ホースの接続を確認する
給水ナットなどがゆるんでないか確認してください。ホースが外れると、水もれや事故の原因になります。
- 据え付けるとき・移設するときは、必ず新品の給水ホースを使用する
古くなった給水ホースは、水もれなどのおそれがあります。給水ホースについては、アイリスコールへご連絡ください。

据え付けについて



- キャスター付きの台など不安定な場所に据え付けない
- 高いところに据え付けない
脱水時の振動で、転倒・落下・移動し、けがや周囲の家財の破損の原因になります。
- カーペットなど、底面の通気をさまたげる場所に据え付けない
火災の原因になります。



- 確実に排水できる場所に据え付ける
水もれにより、周囲の家財の汚損や、火災・感電の原因になります。



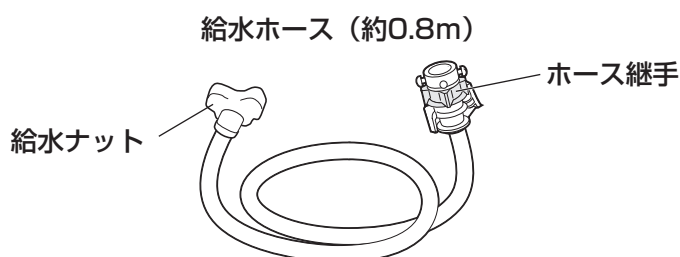
- 給水ホースは、ストッパー付き洗濯機用ニップルの付いた水栓に接続する
- ニップル付き水栓でない場合は、必ず付属の継手を取り付けて接続する
水もれがないように、確実に取り付けてください。給水ホースとサイズなどが合わない場合は取り付けしないでください。



- 給湯器に接続しない
プラスチック部分が変形・破損し、感電や漏電、水もれの原因になります。

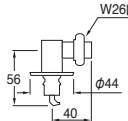
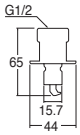
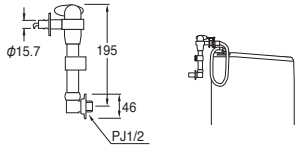
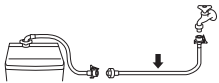
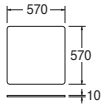
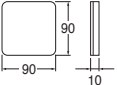
付属品の確認

最初に、付属品がそろっていることを確認をしてください。
万一足りないものがある場合は、アイリスコールへご連絡ください。



据え付け関連部品

据え付けに必要な部品を用意する場合は、以下の株式会社三栄水栓製作所のものを推奨します。(当社確認済み)

部品名	品番	形状	備考
洗濯機用 L型ニップル	PY124-41TVX-16		・ 万一ホースが外れた場合、瞬時に給水を自動停止 ・ 曲げ角度90° ・ 材質：青銅
洗濯機用 ニップル	PT3320		・ 万一ホースが外れた場合、瞬時に給水を自動停止 ・ カップリング水栓用 ・ 材質：黄銅
ミニセラ 洗濯機用水栓	PY1735TV-13		・ 配管が洗濯機より低い場合に使用します。 ・ オートストッパー付き
自動洗濯機 給水延長ホース	PT17-2-1		・ 全自動洗濯機用ホースの延長用 ・ 長さ：1m ・ 材質：塩化ビニル樹脂、ポリアセタール
洗濯機 排水ホース	PH64-861T-1.5		・ 洗濯機排水ホースの延長用 ・ 長さ：1.5m ・ ホース内径：30mm
洗濯機用 トレイ（全自動用）	PH545-570		・ 材質：ポリスチレン
洗濯機 防振かさ上げ台	PH54130S		・ 洗濯機の下に敷くことで、洗濯機の位置が6cmアップします。 ・ 洗濯機の振動を抑えます。 ・ 耐荷重：150kg（4個使用時） ・ 材質：ポリプロピレン
防振パッド	PW75		・ 洗濯機の下に敷いて振動を抑え、ずれを防ぎます。 ・ 材質：ウレタンフォーム、EVA樹脂

※ 仕様は予告なく変更する場合があります。

据え付け

1 据え付け場所を確認する



- 水回り、浴室など湿気のある場所には絶対に据え付けしないでください。
- ベランダ・庭など風雨にさらされる場所には据え付けしないでください。



- キャスター付きの台など、不安定な場所には据え付けしないでください。
- 高いところに据え付けしないでください。
- 確実に排水できるところに据え付けてください。

- 安定した水平な床に据え付けてください。
- 次のような場所には据え付けしないでください。
 - ・ 冬季に凍結するおそれのある場所
 - ・ 直射日光の当たる場所
 - ・ 暖房など発熱器具の近く
 - ・ 有機溶剤を扱う場所
 - ・ 強度のない床
 - ・ タイルなど滑りやすい床
 - ・ ブロック・角材・レンガの上など、不安定な場所

給水圧の確認

- ・ 接続する水栓の水圧が、以下の範囲になっているか確認してください。

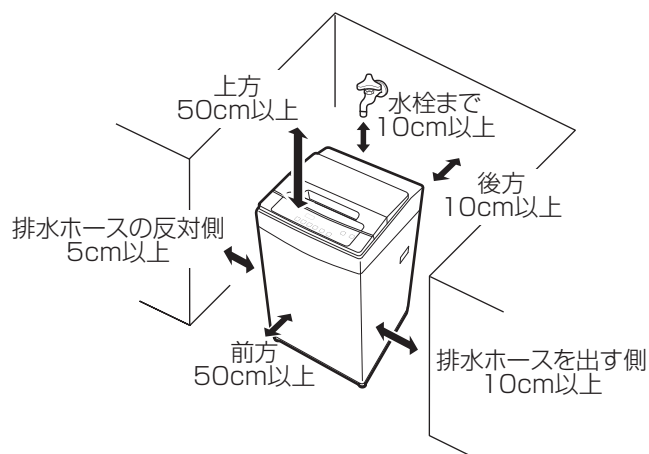
最大許容水圧：0.8MPa

最小許容水圧：0.03MPa

据え付けに必要な寸法の確認

壁から図に示す距離を空ける

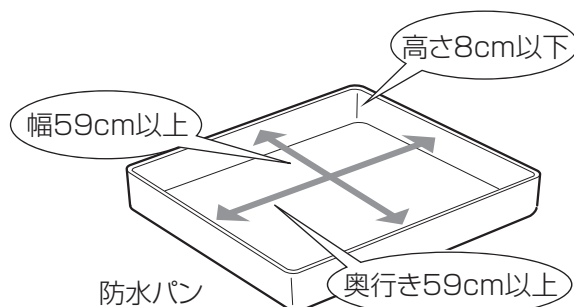
- ※ せまい場所に設置すると、接触による騒音・振動・故障・破損の原因になります。



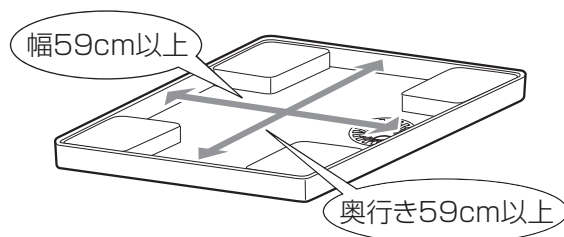
防水パンに設置する場合は

防水パンの内寸は図に示す寸法が必要

- ・ 台なし防水パン



- ・ 台付き防水パン



※ 防水パンが設置されておらず、床が防水でないときは、洗濯機用トレーを設置してください。室温が低いときや湿度が高いとき、冷水を使用して洗濯するときなど、洗濯機の内側が結露して、床がぬれることがあります。

排水口の清掃

排水ホースを取り付ける前に排水口を掃除する

- ※ 排水口にごみがたまっていると、水もれや排水不良、においの原因になります。

2 排水ホースを排水口に接続する



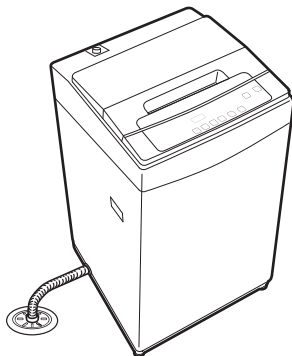
注意

- 排水ホースをたるませたり、ねじったりしないでください。
- 排水ホースは、本体底面とこすれないようにしてください。
- 排水ホースは、高さ10cm以内にしてください。

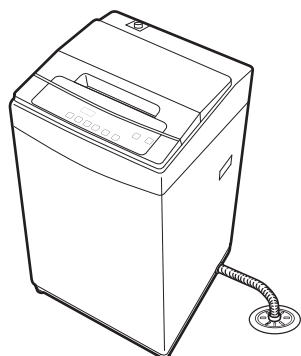
- 排水口が本体の右側・左側・後ろ側にあるときは、そのまま排水ホースを排水口に接続します。
- 排水口が本体の下にあるときは、高さ調整板を使用して排水口に接続します。

排水口が本体の右側・左側・後ろ側にあるとき
それぞれ下図のように排水ホースを引き出し、排水口に接続する

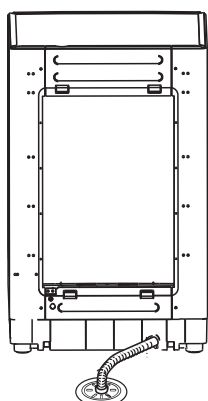
排水口が左側にあるとき



排水口が右側にあるとき

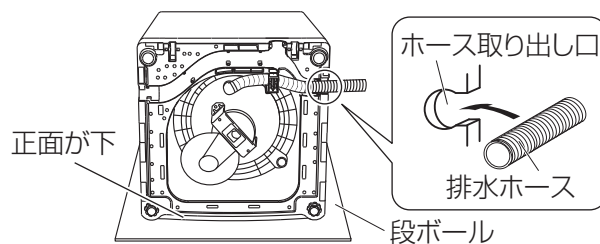


排水口が後ろ側にあるとき



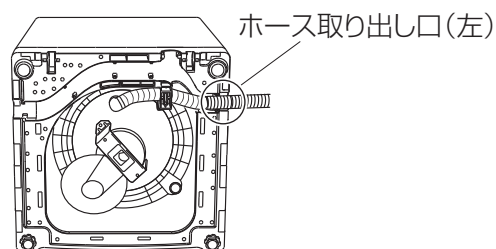
排水ホースの出し方

①段ボールなどを敷き、正面を下にして寝かせる

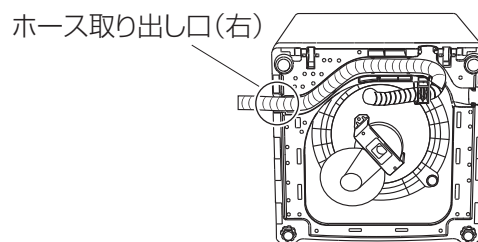


②排水口の場所に合わせてホースを引き出し、ホース取り出し口のくぼみに入れて固定する

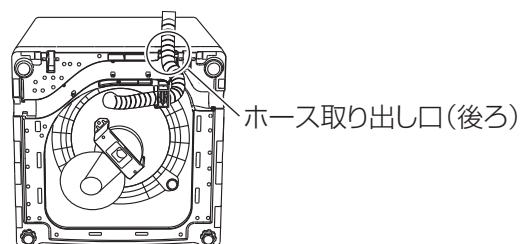
排水口が左側にあるとき



排水口が右側にあるとき

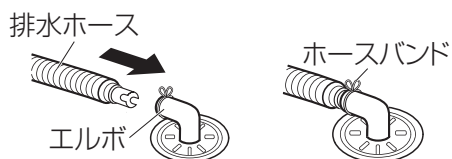


排水口が後ろ側にあるとき



排水口への接続

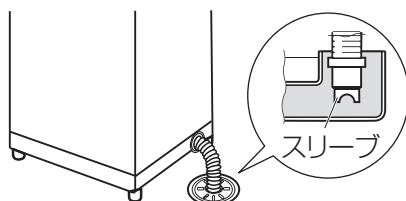
- 排水口にエルボがある場合は、エルボに排水ホースを差し込みます。
- ※ホースが本体底面などこすれないように注意してください。ホースに穴が開くと、水もれの原因になります。
- ※排水ホースは、エルボのホースバンドでしっかり固定してください。
- ※排水ホースとエルボの差し込みがゆるい場合は、エルボを交換してください。



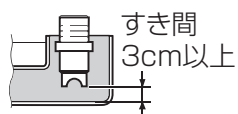
- ※排水ホースの先端をつぶさないでください。水もれの原因になります。



- 排水口にエルボがない場合は、排水ホースの先端を排水口に差し込みます。
- ※排水ホース先端のスリーブは、ホースの先端にすき間を設けるためのものです。外さないでください。



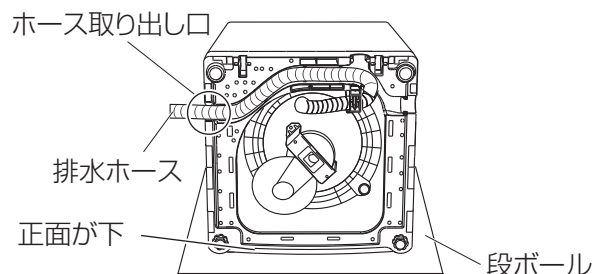
- ※ホースの先と排水口の底の間に3cm以上のすき間を設けてください。



排水口が本体の下にあるとき

排水ホースの出し方

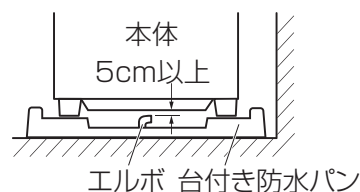
- ①段ボールなどを敷き、正面を下にして寝かせる
- ②右側からホースを引き出し、ホース取り出し口のくぼみに入れて固定する



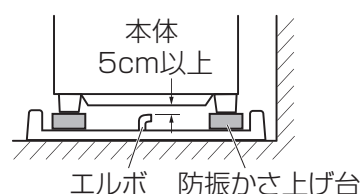
排水口への接続

- 排水口にエルボがある場合は、エルボ上端と本体底面の間に5cm以上のすき間を確保できるように、台付き防水パンなどを使用するか、防振かさ上げ台を使用して高さを調節してください。

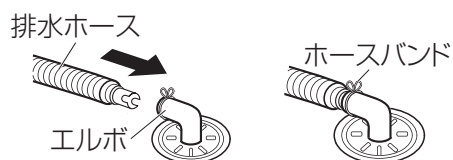
台付き防水パンの場合



台付き防水パンでない場合



- ※排水ホースは、エルボのホースバンドでしっかり固定してください。
- ※排水ホースとエルボの差し込みがゆるい場合は、エルボを交換してください。



- 排水口にエルボがない場合は、市販の排水トラップエルボを取り付けてください。

3 給水ホースを本体へ接続する

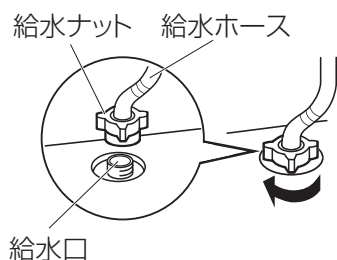


注意

● 給水ホースと本体の接続は、確実に行ってください。

- 給水ホースの先に付いている給水ナットを、本体の給水口にかぶせて、ナットを締め込んでください。

※ ナットは最後まできっちり締めてください。

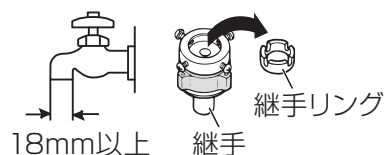


4 給水ホースを給水栓に接続する

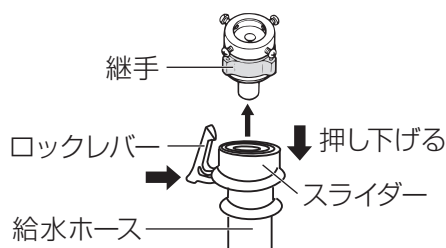
付属の継手の取り付けかた

- 横水栓などに付属の継手を使用して接続する場合は、給水ホースから継手を取り外して、給水栓に取り付けてください。

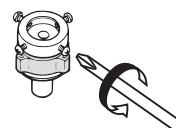
- 給水栓の口の直径が18mm以上のときは、継手リングを外してください。



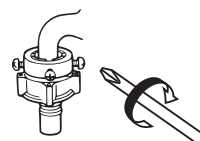
※ 継手を給水ホースから外すには、給水ホースのロックレバーを押してロックを外しながら、スライダを押し下げて、引っ張ってください。



- 継手の4本のねじをゆるめる

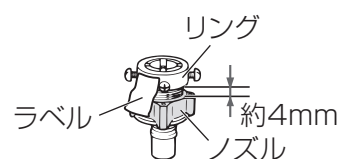


- 給水栓の口の中心と継手のパッキンの中心が合うように、ねじを均等にしっかり締めてください。



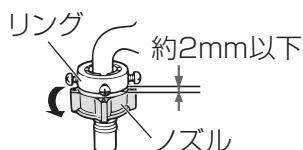
- 継手のリングとノズルの間が約4mmであることを確認して、ラベルをはがす

※ ノズルが回転しないようにラベルが貼り付けてあります。ラベルをはがしてしまった場合は、ノズルを回転させてリングとノズルの間を調節してください。



⑤ ノズルを右に回して締める

- ・ノズルとリングの間に2mm以下になるように締めてください。

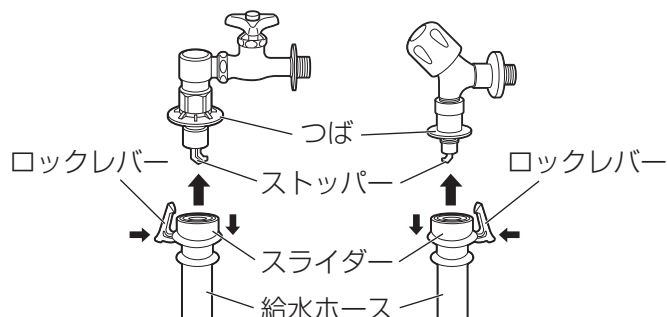


- ・使用中に水もれするときは、ノズルをさらに締めてください。

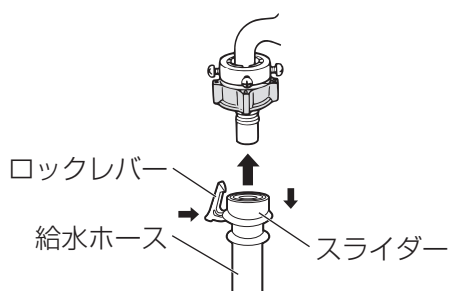
- 付属の継手は、時間が経つとゆるんできてることがあります。水もれがないか、定期的に点検して、増し締めなどを行ってください。
- ひんぱんに水もれしたり、水もれの可能性が大きいときは、ニップル付き給水栓の使用をおすすめします。

接続

- ・ニップル付き給水栓に接続するときは、付属の継手を取り外し、スライダを押し下げて、パチンとなるまで給水ホースを押し込み、ロックレバーをつばにかけてください。
- ※ ストッパー付き水栓のストッパーが吐水口から出ているときは、必ず水栓を閉めてから、ストッパーを押し込んでください。



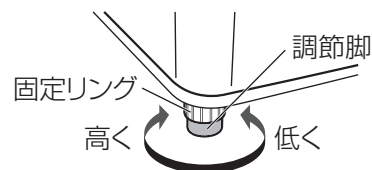
- ・付属の継手を使用する場合も、スライダを押し下げて、パチンとなるまで給水ホースを押し込み、ロックレバーをつばにかけてください。



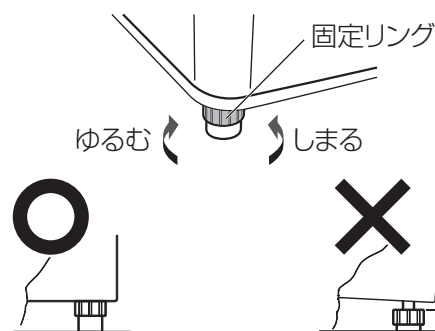
- ・給水ホースを引っ張り、抜けないことを確認してください。
- ・本体の電源は入れないで、給水栓を開け、水もれがないことを確認してください。

5 水平・がたつきの確認をする

左右の調節脚を回して、がたつきがないように調整する



- ・固定リングをゆるめ、調整脚を回して高さを調節したら、固定リングを締めて固定してください。

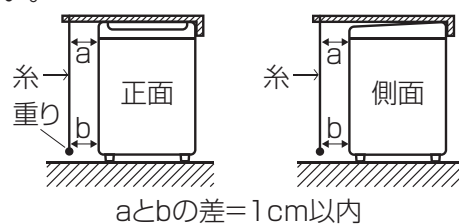


※ 本体底部が、防水パンのふちやコーナー部などに乗り上げたりしていないことを確認してください。



本体が水平になっているか確認する

- ・正面と側面で、重りを付けた糸を下げ、上側と下側ですき間に1cm以上の差がないようにしてください。



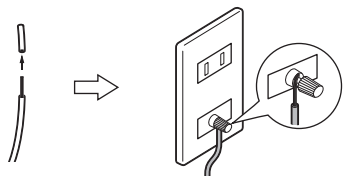
本体の対角線上の角を押して、がたつきがないことを確認する

※ がたつきのあるときは、再度調整してください。

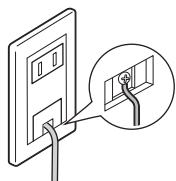
6 アースを接続する

アース端子付きコンセントがある場合

- ・アース線先端の絶縁被覆を抜き取り、芯線部分をアース端子に差し込んで固定します。

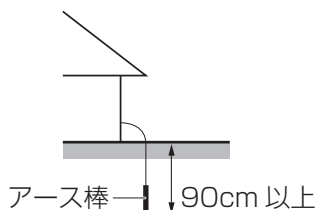


- ・ふた付きの場合はふたを開けてつないでください。



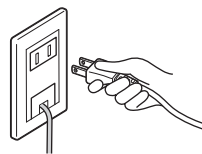
アース端子付きコンセントがない場合

- ・アース棒の設置が必要です。販売店または電気工事店に相談してください。



- アースは必ず接続してください。
- ガス管や水道管、電話線や避雷針のアース線には絶対に接続しないでください。

7 電源プラグをコンセントに差し込む



- 電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込んでください。
- 電源は交流100V、定格15A以上のコンセントを単独で使用してください。
- ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしないでください。
- 電源コードはたばねないで、必ずのばして使用してください。
- 洗濯機を電源プラグに押し付けないようにしてください。
- 電源コードや電源プラグが、傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しないでください。
- 電源コードを、引っ張ったりして傷つけないでください。
- 延長コードは使用しないでください。

8 試運転する

・次の手順で試運転してください。

1 電源プラグを差し込み、水栓を開く

・給水ホースや接続部から水もれがないことを確認してください。

2 ふたを閉め、電源 切／入ボタンを押して電源を入れ、スタート／一時停止ボタンを押してスタートする

・パルセーターが左右に回転して、水位が表示され、給水が始まります。

3 水位ボタンを押し、一番上の水位を選ぶ

・給水終了後、ふたロックが点灯して、ふたがロックされることを確認してください。

・約5分間運転し、異常音・水もれがないことを確認してください。

4 スタート／一時停止ボタンを押して、一時停止する

・ふたを開けて、ふたロックが解除されることを確認してください。

5 電源 切／入ボタンを押して電源を切り、再度押して電源を入れ直す

6 ふたを閉めて脱水ボタンを押し、スタート／一時停止ボタンを押してスタートする

・ふたがロックされます。

・排水が始まります。排水口・排水ホースから水もれがないこと、にごった水が出ないことを確認してください。

・約3分間脱水し、異常音・異常振動がないことを確認してください。

・モーターは通電による制御をするため、モーター音は一定ではありませんが、異常ではありません。

7 スタート／一時停止ボタンを押して一時停止する

・約60秒でふたロックが解除されることを確認してください。

8 電源 切／入ボタンを押して、電源を切る

チェックシート

・据え付け完了後、各項目を確認して、□の中に✓印を入れ、この据付説明書をお客様に渡してください。

- ☐ AC100Vで定格15A以上のコンセントを単独で使用しています。
- ☐ コンセントのゆるみや、電源コード・電源プラグの傷みはないことを確認しました。
- ☐ アース線の接続は確実に行いました。(感電防止のため、アースは必ず接続してください。)
- ☐ 給水ホースの、水栓・本体との接続部に水もれがないことを確認しました。
- ☐ 試運転して、にごった水は出ないことを確認しました。
- ☐ 排水口に糸くずなどのごみがたまっていないことを確認しました。
- ☐ 排水ホースが、本体の下にはさまったり、よじれたり、つぶれたりしていないことを確認しました。
- ☐ 排水ホースが10cm以上持ち上がっていないことを確認しました。
- ☐ 本体の対角線上の角を押したときに、がたつきがないことを確認しました。
- ☐ 調整脚の固定リングをしっかり締めたことを確認しました。(本体底面と固定リングの間にすき間がないこと)
- ☐ 試運転して、異常音、水もれ、電源コード・排水ホース・給水ホースの本体への接触はなく、正常に給水・排水されることを確認しました。

確認日: 年 月 日

確認者:

工事(施工)会社名:

問い合わせ先 電話番号:

アイリスオーヤマ株式会社 〒980-8510 仙台市青葉区五橋2丁目12番1号
ホームページ <http://www.irisohyama.co.jp/>

製品及び修理に関するお問い合わせは

アイリスコール (通話料無料)

0800-919-0770

受付時間 平日 9:00～17:00、土・日・祝日 9:00～12:00 / 13:00～17:00
(年末年始・夏期休業期間・会社都合による休日を除く)

FAX でのお問い合わせは (通話料無料)

0800-888-2600

Web からの問い合わせは

<https://www.irisohyama.co.jp/support/>

メールフォームにご記入のうえ送信してください